

年 報

2014 年度（平成 26 年度）

No.17

長野県立歴史館

目 次

概 要

I 沿 革	1
1 開館までの歩み	
2 開館後の歩み	
II 機能・組織・運営	5
1 機 能	
2 組織と分掌	
3 運 営	
4 関係法規	
III 施 設	13
1 平面図	
2 諸 室	

事 業

I 平成 26 年度の主な事業実績	15
II 展 示	16
1 常設展示	
2 企画展示等	
III 教育普及公開	36
1 学校・団体見学 実施記録	
2 企画展関連講演会等	
3 講 座	
4 歴史館セミナー	
5 長野県カルチャーセンター連携講座	
6 八十二文化財団連携講座（大人の遠足）	
7 飯田市美術博物館連携講座	
8 考古学セミナー	
9 近世史セミナー	
10 平成 26 年度文化庁芸術振興補助金 （地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動深淵事業）による事業	
11 講習会	
12 各種講習会・イベント	
13 展示解説	
14 学校との連携	
15 博物館実習	

16	職場体験学習	
17	サークル育成活動	
18	ボランティア活動	
19	博物館関係職員等研修会	
20	職員派遣（出前講座）	
IV	共催事業	68
V	出版	69
1	長野県立歴史館たより	
2	ブックレット	
3	研究紀要	
4	その他	
VI	閲覧・情報提供	71
1	図書等資料	
2	情報提供	
VII	調査研究	72
1	調査研究の体制と内容	
2	学芸研究会	
3	時代別研究会	
VIII	資料の収集・整理・保存	74
1	資料収集の方針	
2	展示資料	
3	考古資料	
4	文献史料	
IX	広報	80
1	広告・案内	
2	記事・報道	
資料		
I	資料利用	85
II	閲覧利用・情報利用	85
III	利用者	85
IV	収蔵史資料数	88
日誌		89

一 概 要

I 沿 革

1 開館までの歩み

- 1988年（昭和63） 4月……「第二次長野県総合5か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置
- 1989年（平成元） 7月……懇話会が報告書を提出
- 1990年（平成2） 10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置
11月……建設基本構想骨子決定
- 1991年（平成3） 4月……開館準備専任職員配置
5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置
- 1992年（平成4） 9月24日…起工式
- 1994年（平成6） 5月……建設工事完成
8月……展示工事完成
11月 3日…開館

2 開館後の歩み

1994（平成6）年度

- 11月 開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）
資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

1995（平成7）年度

やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）

- 7月 夏季企画展「絵図にみる信濃」
8月 特別展示「終戦日8月15日の長野県民」
10月 秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

1996（平成8）年度

新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施

- 7月 夏季企画展「縄文人の一生」
10月 秋季企画展「木簡が語る古代の信濃」

1997年 1月 館蔵品展

1997（平成9）年度

9月に館燻蒸を初めて実施

- 7月 夏季企画展「殖産興業と万国博覧会」
8月 長野県立歴史館ホームページ開設
10月 秋季企画展「長野県にみる世界の文化」

1998年 1月 館蔵品展

- 3月 皇太子・皇太子妃両殿下行啓

1998（平成10）年度

古文書講座を入門講座と解説講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。

- 6月 屋代木簡特別展示
7月 夏季企画展「古代シナノの武器と馬具」
10月 秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。

1999年 2月 長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

1999（平成11）年度

やさしい信濃の歴史講座（「やさしい信濃の歴史学習会」を改称）、考古学講座（「考古資料講座」を改称）。歴史館セミナーを年3回実施。

- 4月 館蔵品展

- 6月 佐久セミナー
- 7月 開館五周年記念特別展「信濃名宝展」
- 10月 秋季企画展「蘭学万華鏡」
- 11月 開館5周年記念式典挙行
- 2000年1月 考古資料特別公開「躍動する縄文土器」

2000(平成12)年度

西暦2000年に合わせて、20世紀の長野県の歴史をふり返る特別展を企画。

- 7月 木曾セミナー
夏季企画展「千曲川歴史紀行」
- 10月 秋季企画展「歴史の宝庫 秋葉みち」
- 12月 長野県人権啓発センター開設(講堂棟)
- 2001年1月 長野県の20世紀展「信州に生きた20世紀の女たち」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2000」
ホームページ全面更新 独自ドメイン(www.npmh.net)取得

2001(平成13)年度

- 5月 館蔵品展「屏風の世界」
- 7月 夏季企画展「阿久遺跡と縄文人の世界」
諏訪セミナー
- 10月 秋季企画展「文人墨客がつどう」

- 2002年1月 特別公開「雛人形と雛道具」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2001」

2002(平成14)年度

- 5月 テーマ展「北村縄文人の時代－仮面土偶をつくった人びと－」
- 7月 夏季企画展「世界と地域を見つめた長野県教育－信山育材－」
北安曇セミナー
- 10月 秋季企画展「開設四百年 中山道－信濃二十六宿と間宿－」
- 2003年1月 特別公開「雛人形と雛道具－田中平八コレクションと北信濃の雛人形－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2002」

2003(平成15)年度

夏休み中、7月19日～8月24日の間、体験講座「石のアクセサリーに挑戦」を毎日実施した。講座開設に際して、当館としてはじめてボランティアを受け入れた。この後、「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」の折り鶴、「雛人形と雛道具展」のお雛様作り、および赤外線カメラの解説にボランティアを受け入れた。また一階エントランスに簡易展示コーナーを設置した。入館者数は4000人ほど前年度を上回り、3年連続の増となった。

- 5月 テーマ展「おらが善光寺さん－秘伝の寺ものがたり－」
- 7月 夏季企画展「SOSふるさとの文化財をすくえー伝えたい古人の心と技－」
上伊那セミナー
- 9月 秋季企画展「もみじ 夕焼け 里の秋－唱歌・童謡のふるさと信州－」
同時開催「ヒロシマ・ナガサキ原爆展－風化させてはならない歴史－」
- 2004年1月 特別公開「重要文化財 神子柴遺跡の石器群－石の時代の槍と斧－」
同時公開「雛人形と雛道具－子どもの祝い－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2003」(共催事業)

2004(平成16)年度

開館10周年の節目の年にあたり、総入館者数100万人を突破した。企画展では開館以来初めて年間を通じたテーマ(「人と物の交流」)を設定し、秋季展では入場者数1万人を越えるなど健闘した。夏季展では善光寺道ウォーキング、秋季企画展ではドングリゴマづくり、冬季展では折雛づくりなど参加型活動を模索した年でもあった。民話データベースの公開、小・中生向けの調べ学習対応の図書を配備した。

- 5月 春季展「神がみへの願い人々の折り－古代のまつり－」
- 7月 開館10周年記念式典
夏季展「善光寺道－街道を行き来した人・物・文化－」
松本セミナー「松本地域の歴史と風土」
- 10月 秋季展「中世信濃武士意外伝－義仲から幸村まで－」
- 2005年1月 新春特別公開「新春屏風絵図展」
冬季展「天下の糸平ゆかりの雛人形－横浜を目指した信州の生糸商人たち－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2004」(共催事業)

2005 (平成17) 年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。

企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森將軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

- 5月 春季特別展「里帰りした赤羽刀－GHQ接收刀剣の輝き－」
- 7月 夏季企画展「地下4mの縄文伝説－屋代遺跡群 愛と出会いの4千年－」
飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか
- 10月 秋季企画展「信州舞台物語－団十郎も須磨子もやってきた－」
- 11月 特別公開「六角木幢－極楽浄土への道しるべ－」（共催事業）
- 2006年1月 特別公開「雛人形と雛道具－身だしなみとよそおい－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2006」（共催事業）

2006 (平成18) 年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館蔵品公開を目的にした「信州の歴史遺産Ⅰ」を初めて開催した。学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行業者はじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に村して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目（平成7年度）の13万人に次ぐ112,230人を記録することができた。

- 5月 春季展「古瓦からみた信濃の古代－神津猛・米山－政資料を中心に－」
- 7月 夏季企画展「幕末の信州－時代を駆けた草莽たち－」
- 9月 秋季企画展「戦時下の子どもたち－信州の十五年戦争－」
- 11月 「信州の歴史遺産Ⅰ－新指定長野県宝と歴史館のお宝－」
- 2007年1月 冬季展「信濃の人形－いのりと願い－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2007」（共催事業）

2007 (平成19) 年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島2007－新発見考古資料速報展－」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事が出来た。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域への出前講座などを更に進め、開館二年目に次ぐ117,236人の入館者を記録する事が出来た。

- 5月 春季展「埋もれていた信州遺産の発見－長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから－」
- 7月 夏季展「絵地図の魅力－わたしの城下町－」
- 9月 文化庁巡回展「発掘された日本列島2007－新発見考古資料速報展－」
- 10月 秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」
- 2008年1月 冬季展「信濃の人形展」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2008」（共催事業）

2008 (平成20) 年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何？」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産Ⅱ」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習（勾玉づくり）の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感ずることができた。

- 5月 春季展「うつわは語る－縄文から近世まで－」
- 7月 夏季企画展「大庄屋って何？－安曇郡・清水家文書の350年－」
- 9月 秋季企画展「よみがえる氷河時代の狩人」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅱ－長野県宝と歴史館のお宝－」
- 2009年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2009」（共催事業）

2009 (平成21) 年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術博物館を会場に2回の公開講座を実施した。

- 4月 春季企画展「善光寺信仰－流転と遍歴の勅化－」
- 8月 夏季展「信州 知の遺産の系譜－歴史を記録した先人たち－」
- 9月 秋季企画展「山を越え川に沿う－信州弥生文化の確立－」

- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ ― 諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’ ―」
2010年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2010」（共催事業）

2010(平成22) 年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林B遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

- 5月 春季企画展「ひめゆり 平和への祈り〔沖縄戦から65年〕」
7月 夏季展「あの世への想い ― 日本人はどのように埋葬されてきたか ―」
9月 秋季企画展「東の牛伏寺 西の若澤寺 ― 古代に創建された松本平の二つの寺院 ―」
12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅳ ― 文字のちから ―」
2011年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2011」（共催事業）

2011(平成23) 年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

- 5月 春季展「武士の家宝―かたりつがれた御家の由緒―」
7月 夏季企画展「激動を生きぬく ― 信濃武士市河氏の400年 ―」
9月 秋季企画展「観光地の描き方 ― 浮世絵版画から観光パンフレットまで ―」
12月 冬季展「郷土のお宝 ― 『重文・県宝』を見よう ―」
2012年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2012」（共催事業）

2012(平成24) 年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめ一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

- 5月 春季企画展「長野県の満洲移民―三つの大日向をたどる―」
7月 夏季展「戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る」
9月 秋季企画展「縄文土器展」：前期展「八ヶ岳山麓の名作」 後期展「千曲川流域、土器一万年の旅」
2013年1月 冬季展「愛娘の調度品―姫君様の婚礼道具から雛人形まで―」
3月 埋蔵文化財センター30周年企画展「長野県の遺跡発掘2013」（共催事業）

2013(平成25) 年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点を置いた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということもあり、全国からの観覧者があった。秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の水害」では、戊の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

- 4月 天皇・皇后両陛下下行幸啓
6月 夏季展「信州の野球史―大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球―」
9月 秋季展「刃が語る信濃」
11月 冬季展「山国の水害―戊の満水と善光寺地震―」
2014年2月 館蔵品展「戦前の観光信州」
3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2014」（共催事業）

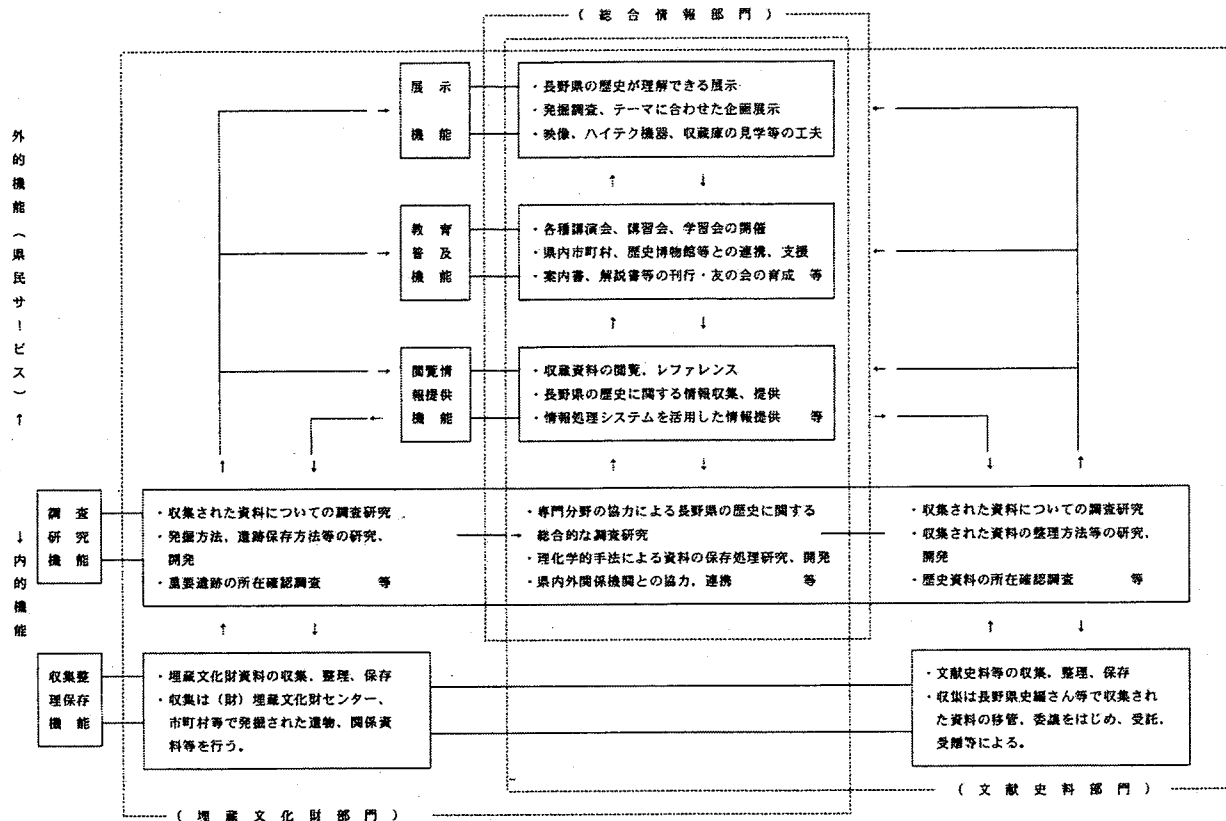
2014(平成26) 年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点を置いた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

- 6月 館蔵品 展「歴史に煌めく日本の美」
7月 夏季展「山とともに生きる～「信州山の日」制定を記念して～」
9月 秋季展「信濃武士の決断～信長・秀吉・家康の時代～」
11月 冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」
2015年2月 春季展「山と海の回廊をゆく～信濃と北陸をつなぐ道～」

Ⅱ 機能・組織・運営

1 機能



県立歴史館機能構成図（平成元年7月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による）

建設基本構想骨子（平成2年11月建設委員会決定）

1 施設の性格

- (1) 発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。
- (2) 文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

2 設置場所

更埴市大字屋代字清水（森將軍塚古墳付近）

3 館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

(1) 展示

- ア 埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。
- イ 発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。
- ウ 映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

(2) 教育普及

- ア 各種講演会、講習会、学習会を開催する。
- イ 県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

(3) 閲覧、情報提供

- ア 収蔵資料を閲覧に供する。
- イ 長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

(4) 調査研究

- ア 収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。
- イ 専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。
- ウ 発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。
- エ 重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

(5) 収集、整理、保存

- ア 長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史資料を収集し、整理分類して収蔵する。
- イ 資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係

資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委

譲をはじめ、受託、受贈、購入、複製収集等による。

4 館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

(1) 総合情報部門

- ア 展示の企画、開催、教育普及活動等
- イ 長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

(2) 埋蔵文化財部門

- ア 埋蔵文化財資料の収集、整理、保存
- イ 遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

(3) 文献史料部門

- ア 行政文書、古文書などの収集、整理、保存
- イ 古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

(4) 管理部門

- ア 庶務、会計
- イ 施設、設備の管理

5 敷地の概要

取得面積 約 19,500 m²

（用途別内訳）

建物面積 6,500 m²程度 駐車場 4,500 m²程度

外構面積 6,500 m²程度 屋外展示 2,000 m²程度

6 施設の概要

建築面積 6,500 m²程度

延べ床面積 10,000 m²程度

（部門別内訳）

総合情報部門 3,100 m²程度

埋蔵文化財部門 2,750 m²程度

文献史料部門 1,850 m²程度

管理部門 2,300 m²程度

7 建設計画

平成4年 着工

平成5年 完成

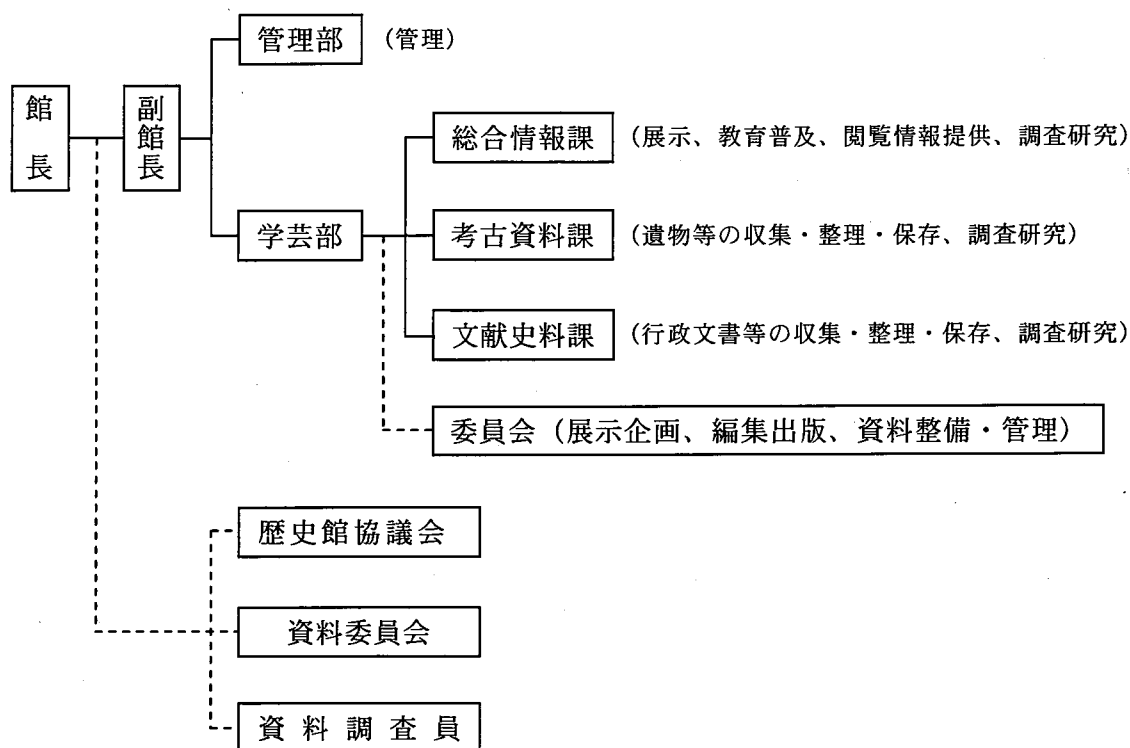
平成6年（春） 開館

8 施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

2 組織と分掌

○組織図（平成 26 年 4 月 1 日現在）



○分掌表

部 課		分 掌 事 項
管 理 部		1 庶務及び会計に関すること
		2 組織及び人事に関すること
		3 営繕に関すること
		4 警備、清掃及び防火に関すること
		5 施設、設備の保守管理に関すること
学 芸 部	総 合 情 報 課	1 歴史資料等の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること
		2 教育普及（講演会、講習会、研修会等）の企画及び実施並びに調整に関すること
		3 図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること
		4 情報提供の企画及び実施に関すること
		5 各種刊行物の編集及び出版並びに企画調整に関すること
	考 古 資 料 課	1 考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること
		2 埋蔵文化財の研究及び科学分析・保存処理に関すること
		3 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること
		4 情報提供の実施に関すること
		5 考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること
	文 献 史 料 課	1 文献史料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること
		2 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること
		3 情報提供の実施に関すること
		4 文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること

3 運 営

(1) 平成 26 年度運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料、その他の歴史資料及び長野県の公文書を収集、保存、調査研究し展示、閲覧等により県民に公開するとともに県民が楽しく利用できる諸事業を行い、もって県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

① 展示の充実

- (a) 常設展示（年間展示・展示替 2 回）
- (b) 企画展等
 - ・ 館 蔵 品 展「歴史に煌めく日本の美」
 - ・ 夏 季 展「山とともに生きる」
 - ・ 秋季企画展「信濃武士の決断」
 - ・ 冬季展「縄文土器展～でこぼこかざりのはじまり～」
 - ・ 春季企画展「山と海の回廊を行く」
- (c) 埋蔵文化財速報展「長野県の遺跡発掘 2014」（共催事業）（長野・伊那会場）
- (d) 上記展示に関連した展示解説や講演会等の事業

② 歴史関係講座等の開催

- (a) 飯田市美術博物館連携講座、八十二文化財団連携講座、長野県カルチャーセンター連携講座
- (b) 歴史館セミナー、やさしい信濃の歴史講座、考古学講座、古文書講座〔初級・中級・上級〕
- (c) その他各種講演会・講座等の開催
- (d) 文化庁助成事業

③ 刊行物の発行

- (a) 年報、研究紀要、ブックレット及び歴史館たより等の発行
- (b) その他パンフレット等を随時発行

④ 史資料の収集、整理、保存及び公開

- (a) 本県に関係する考古資料、歴史史資料、行政文書等の散逸防止を図るための収集、整理及び保存
- (b) 長野県埋蔵文化財センター等が発掘した考古資料の科学分析、保存処理、整理及び保存
- (c) 収集、整理及び保存している史資料の積極的な公開や活用の促進
- (d) 長野県の歴史を明らかにするための総合調査の計画、実施

⑤ その他

- (a) 歴史館の運営に関係する諸機関との連携強化
- (b) 学校教育や生涯学習及び文化財保護活動等への支援
- (c) 長野県博物館協議会及び長野県史料保存活用連絡協議会等に係る業務の推進
- (d) 信州大学学芸員課程講座

(2) 職員名簿

(平成27年3月31日現在)

館 長 青木 弘							
副館長 奥村 賢三							
管理部長 奥村 賢三 (兼)		学芸部長 市川 正夫					
管 理 部		総合情報課		考古資料課		文献史料課	
主 査	越野 哲雄	課 長	福島 正樹	課 長	原 明芳	課 長	青木 隆幸
主 事	黒岩 豊和	専門主事	傳田 伊史	専門主事	寺内 隆夫	専門主事	遠藤 公洋
(再)主事	豊田 幸一	主幹・学芸員	岸田 恵理	同	白沢 勝彦	同	徳嵩 隆治
職 員	金児 君江	専門主事	畔上 不二男	同	上田 典男	専 門 員	中嶋 常博
同	市川 美穂	主幹・学芸員	林 誠			同	渡邊 修行
同	鶴田 京子	専門主事	中野 亮一			同	徳嵩 雄司
		同	宮本 博				
		同	市川 厚				
		同	金澤 大典				
		専 門 員	角田 恵祐				

(3) 長野県立歴史館協議会委員 (五十音順)

氏 名	役 職
小 林 正 春	長野県考古学会長
近 藤 博 子	千曲市森將軍塚古墳館長
下 村 征 子	東御市教育委員長
高 澤 政 江	公募
竹 内 誠	東京都江戸東京博物館長
中 條 智 子	(一社)長野県連合婦人会長
中 村 孝 子	坂城小学校教諭
山 浦 寿	信濃史学会長
山 崎 まゆみ	公募
湯 原 儀 芳	(公財)八十二文化財団常務理事

(5) 長野県立歴史館資料委員会委員 (五十音順)

氏 名	役 職	分 野
上 條 宏 之	長野県短期大学学長	近・現代資料
工 楽 善 通	大阪府立狭山池博物館長	原始資料
竹 内 誠	東京都江戸東京博物館長	近世資料
平 川 南	国立歴史民俗博物館長	古代・中世資料
矢 島 新	跡見学園女子大学教授	美術工芸資料

(4) 長野県立歴史館資料調査員

氏 名	担 当 範 囲
宿 岩 善 人	南佐久郡・佐久市
牧 野 和 人	北佐久郡・小諸市
倉 澤 正 幸	小県郡・上田市・東御市
宮 坂 徹	諏訪郡・岡谷市・諏訪市・茅野市
丸 山 徹一郎	上伊那郡・伊那市・駒ヶ根市
山 内 尚 巳	下伊那郡・飯田市
柳 川 浩 司	木曽郡
小 松 芳 郎	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
伊 藤 信 一	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
篠 崎 健一郎	北安曇郡・大町市
久保田 廣 志	埴科郡・千曲市
丸 山 文 雄	上高井郡・須坂市
樋 口 和 雄	下高井郡・中野市
山 上 茂 司	上水内郡・長野市
野 池 猛 敏	上水内郡・長野市
田 中 秀 穂	下水内郡・飯山市

4 関係法規

長野県立歴史館条例 (平成6年長野県条例第24号)

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)並びに地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)を千曲市に設置する。

(職員)

第3条 歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(協議会)

第4条 歴史館に、博物館法第20条の規定による歴史館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(使用の許可)

第5条 歴史館を使用しようとする者は、長野県教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用料の納付)

第6条 歴史館の展示資料を観覧する者は、使用料を納付しなければならない。

(使用料の額)

第7条 前条の使用料の額は、観覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

(使用料の減免)

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

- (1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。
- (2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

(管理等の委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成15年7月24日条例第47号)

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第37号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日条例第40号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

長野県立歴史館管理規則 (平成6年教育委員会規則第5号)

(趣旨)

第1条 この規則は、長野県立歴史館条例(平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。)第9条の規定により、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 歴史館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、長野県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、火曜日)

- (2) 休日の翌日

- (3) 12月28日から翌年1月3日まで

(開館時間)

第3条 歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(歴史館協議会)

第4条 条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2 歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(使用の許可等)

第5条 条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を閲覧する場合にあっては長野県立歴史館閲覧申込書(様式第1号)を教育委員会に提出し、展示資料を観覧する場合にあってはその旨を教育委員会に申し出なければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、閲覧許可書又は観覧券(様式第2号)を交付するものとする。

(閲覧の制限)

第6条 教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次の各号に掲げるものの閲覧を制限することができる。

- (1) 法令の定めるところにより公開ができないもの
- (2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと認められるもの
- (3) 法人その他の団体に関する資料で、閲覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあると認められるもの
- (4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの
- (5) 資料の整理が完了していないもの
- (6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの
- (7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により閲覧

に供することが不適当と認められるもの

(遵守事項)

第7条 歴史館の利用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。
- (2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について教育委員会が定める事項

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(使用許可の取消し等)

第9条 教育委員会は、歴史館の利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
- (2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

(損害の賠償)

第10条 歴史館の利用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく教育委員会に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

長野県立歴史館協議会運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、長野県立歴史館条例(平成6年条例第24号)第4条及び長野県立歴史館管理規則(平成6年教育委員会規則第5号)第4条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会(以下「協議会」という。)の運営に必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長がその議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第4条 協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

(委任)

第5条 この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この細則は、平成24年10月1日から施行する。

長野県立歴史館資料委員会要綱

(設置)

第1条 長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 委員会は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

(委員)

第3条 委員会の委員（以下「委員」という。）の定数は、7名以内とする。

- 2 委員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 館長は、収集しようとする歴史資料について、委員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時的に委員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する委員会開催日までとする。

(会長及び副会長)

第4条 委員会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選とする。
- 3 会長は会務を総理し、委員会を代表する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、館長が招集する。

- 2 会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、歴史館において処理する。

附則

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

長野県立歴史館資料調査員設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

(委嘱)

第2条 調査員は、歴史館長が委嘱する。

- 2 調査員には、調査員証（様式第1号）を交付する。

- 3 調査員証は第6条に規定する調査以外に用いてはならない。

(任期)

第3条 調査員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

(員数及び調査区域)

第4条 調査員は、16名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

(調査対象)

第5条 調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史料とする。

(調査方法及び報告)

第6条 調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他歴史館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を歴史館長に報告するものとする。

(守秘義務等)

第7条 調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、職務上知り得た秘密を洩らしてはならない。

(会議)

第8条 調査員の情報交換、調査事項の指示のため、歴史館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

附則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成18年5月26日から施行する。

Ⅲ 施設 (平成26年3月31日現在)

敷地面積 19,593 m²
 建築面積 6,702 m² (延床面積 10,457 m²)
 鉄筋コンクリート造、地上2階

管理部門

事務室、会議室、エントランスホール 等

総合情報部門

常設展示室 (1,278 m²)、企画展示室 (292 m²)、講堂 (238 席)、第一研修室 (実習室) (186 m²)、第二研修室 (148 m²)、閲覧室 (159 m²)、展示準備室、図書室、情報処理室、映像情報室 等

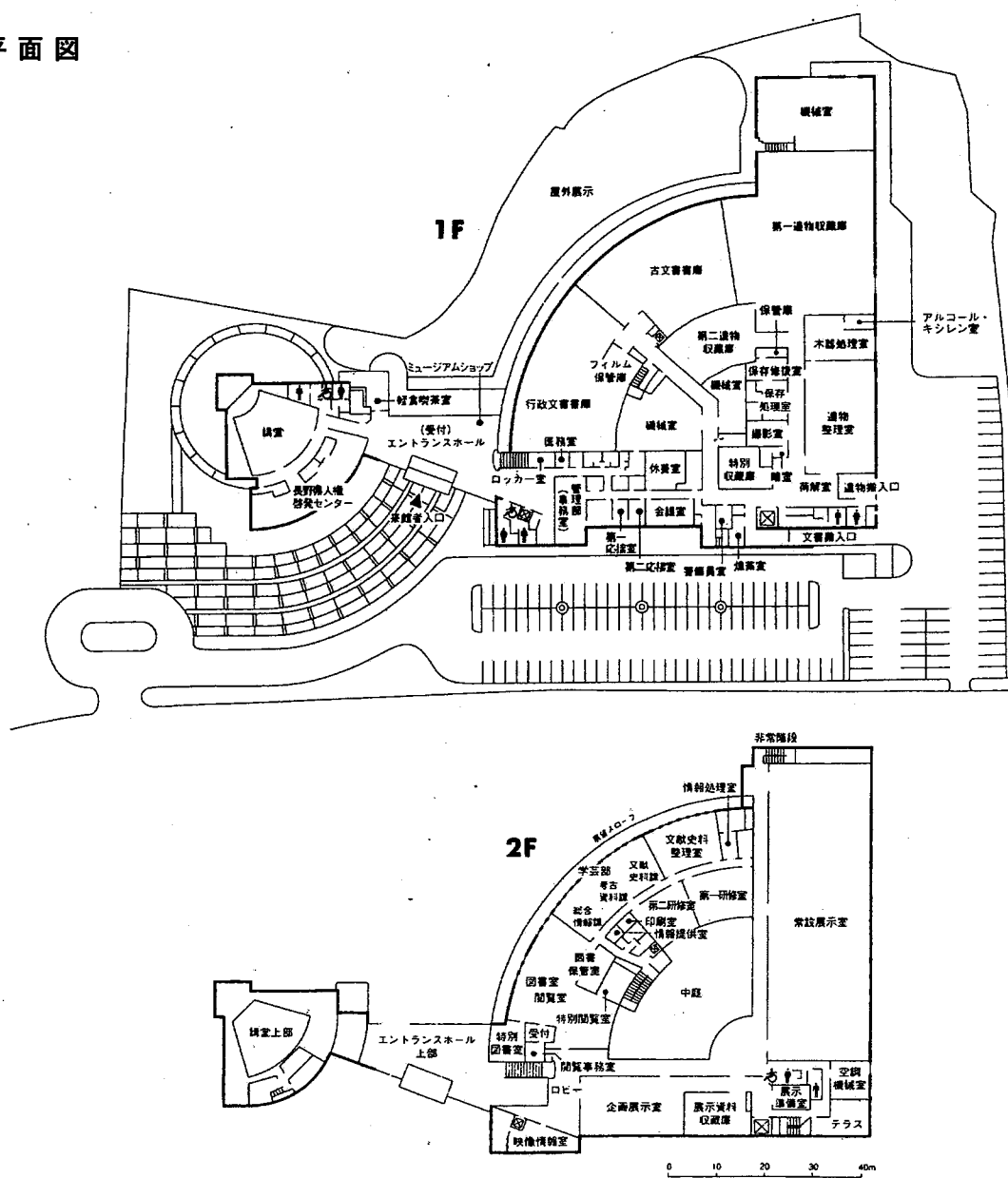
考古資料部門

遺物整理室 (348 m²)、第一遺物収蔵庫 (982 m²)、第二遺物収蔵庫 (215 m²)、木器処理室、保存処理室、保存修復室 等

文献史料部門

文献史料整理室 (145 m²)、行政文書書庫 (592 m²)、古文書書庫 (583 m²)、薫蒸室、フィルム保管庫 等

1 平面図



2 諸 室

部 門	室 名	面積 (㎡)	用 途	備考
学 部	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2 階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史資料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	講堂	225	多人数の各種講演、講座、映写による歴史学習	1 階
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料閲覧	2 階
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	歴史情報の処理、提供	
	映像情報室	73	ビデオ映像による歴史学習	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
芸 部	図書保管室	41	図書資料等保管	2 階
	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台帳・目録作成	
門	撮影・現像室	55	資史料撮影、現像	2 階
	遺物整理室	348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
	保存処理室	45	出土遺物類の各種科学分析	
	木器処理室	97	出土木器の保存処理	
	休養室	37	整理作業員等の休憩、昼食	
	保存修復室	39	遺物の修復	
	X線透過観察室	13	遺物の分析	
	蛍光X線分析室	12	遺物の分析	
	アルコールキシレン室	19	遺物の保存処理	
	第一遺物収蔵庫	982	出土土器・石器類の収蔵	
	第二遺物収蔵庫	215	出土木器の収蔵	
	特別収蔵庫	71	重要な資史料の収蔵	
	行政文書書庫	592	行政文書・行政資料の保管	
	古文書書庫	583	寄贈、寄託等の古文書の保管	
	フィルム保管庫	42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管	
門	学芸部室	148	学芸部職員の執務	2 階
	燻蒸室	19	搬入資料の燻蒸	1 階
	長野県人権啓発センター	188		1 階
	小 計	6,601		
管理部門	事務室	130	管理部門職員の執務	1 階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431		
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下 等	
	小 計	3,856		
	合 計	10,457		

一 事 業

Ⅰ 平成26年度の主な事業実績

事業名		実施時期	利用者数	備考
自主事業	常設展	年間(296日)	39,897	
	館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」	6月14日～7月13日	4,794	
	夏季展「山とともに生きる」	7月26日～8月31日	4,592	
	秋季企画展「信濃武士の決断」	9月27日～11月9日	7,052	
	冬季展「縄文土器展」	11月29日～2月1日	2,131	
	春季企画展「山と海の廻廊をゆく」	2月28日～(3月31日)	1,763	
	企画展関連講演会等(年14回)	5～3月	792	
	やさしい信濃の歴史講座(年6回)	11～2月	1,087	
	考古学講座(年4回)・遺跡探訪会(年1回)	7～12月	350	
	古文書講座(初級A・B、中級A・B、上級別にそれぞれ年5回)	5～10月	875	
	歴史館セミナー(年2回)	6・3月	193	
	出前講座(年43回)	4～3月	2,107	
	バックヤード見学	4～3月	9,213	
	考古資料保存処理講習会(年2回)	11・12月	29	
	文献史料保存活用講習会	11月	35	
	各種講習会・イベント	4～3月	4,522	
	その他			
	史資料等の閲覧	年間(296日)	7,855	
共催事業	展示			
	埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2014」	(4/1)～6/1 7/19～8/24	14,282	
	飯田市美術博物館連携講座(年2回)	2・3月	55	
	大人の遠足(事前学習2回、現地見学1回)	9・10月	139	八十二文化財団
	長野県カルチャーセンター連携講座(6回)	4～9月	116	
	考古学セミナー(年1回)	5月	71	長野県考古学会
	近世史セミナー(年1回)	1月	66	信濃史学会
	埋蔵文化財センター速報展関連講演会等(年4回)	4～8月	742	
計	古文書愛好会探訪会・研修会	10～3月	612	
			103,370	

Ⅱ 展 示

1 常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとの暮らし」

(1) 常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。そうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて示し、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

① 常設展示を構成する柱

・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学際的総合的な歴史研究の成果を生かして、わかりやすく楽しく考えられるものとする。

② 常設展示の方法

- ・常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

③ 常設展示の内容

- ・過去を追体験できるメイン展示
原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。
- ・テーマに沿って学習できる周辺展示
各時代の特徴ある史資料を、テーマに沿って展示し、より深い学習ができるようにする。
- ・マルチメディアによる詳しい解説
周辺展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。
- ・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

(2) 構成

木曽ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林のヒノキ (実大環境復原)	平成26年4月～27年3月	ヒノキ立林・植生
年輪から歴史を読む	平成26年4月～27年3月	木曽ヒノキ年輪・信濃の歴史年表

信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

中テーマ ナウマンゾウと黒曜石

先土器時代、日本列島は大陸と陸続きだったため、ナウマンゾウも渡ってきた。信濃最初の人びとは、現在の北海道なみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	平成26年4月～27年3月	ナウマンゾウ、ナウマンゾウ第1臼歯 他
最初に住んだ人びと	平成26年4月～27年3月	竹佐中原遺跡石器、貫ノ木遺跡ナイフ 形石器、砥石 他
石器の地域性	平成26年4月～27年3月	ナイフ形石器、港川人人骨(レプリカ)

中テーマ 中央高地の縄文文化

1万3000年前、木の実を集め鳥獣を狩り魚をとる食料採集を基礎とし、粘土で焼きあげた器、つまり土器を使う縄文文化がはじまった。5000～4000年前、縄文中期の長野県の地域は、日本一の人口密集地であった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	平成26年4月～27年3月	隆起線文土器、早期の尖底土器、骨角 製装身具
定住のはじまり	平成26年4月～27年3月	阿久遺跡出土土器、石器、装身具
森の中の縄文文化	平成26年4月～27年3月	屋代遺跡群、居沢尾根遺跡土器

縄文の祈りと祭り	平成26年4月～26年9月	土偶、土面、人面付土板、石棒
北村人の生活	平成26年4月～26年9月	人骨、石器、貯蔵穴はぎ取り標本
寒冷化する環境の中で	平成26年9月～27年3月	岩下遺跡土器、北村遺跡土偶・石器

中テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文のムラ（実大環境復原）	平成26年4月～27年3月	竪穴住居・高床建物・縄文の秋の植栽

中テーマ 稲をつくった信濃人

2500年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。200年後、長野県の地域にも、稲作の暮らしがはじまった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	平成26年4月～27年3月	弥生土器、石包丁、人面付土器片、篠ノ井遺跡群箱清水式土器

中テーマ 古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。かれらの力は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
馬と科野の武人	平成26年4月～27年3月	古墳出土馬具、馬歯、馬具装着馬（復元）
朝鮮半島からの文化	平成25年4月～26年3月	天冠、帯金具 他
体験用参考資料	平成25年4月～26年3月	水晶・瑪瑙勾玉

信濃国のなりたちと人々の暮らし

中テーマ 条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史がほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	平成26年4月～27年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	平成26年4月～27年3月	木製農具(鍬、鋤、杵、槌、えぶり)
条里水田	平成25年4月～26年3月	条里区画変遷模型

中テーマ 都と信濃

7世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国々からなり、国のもとに郡が置かれた。信濃は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識したくらしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信濃から都へ	平成26年4月～26年8月	信濃国印(模造)、藤原宮木簡(複製)、正倉院白布(模造)、平城京二条大路木簡(複製)
屋代木簡の世界	平成25年9月～25年3月	屋代遺跡群出土木簡(複製)、斎串、人形、馬形

中テーマ 平安時代の村のくらし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らのくらしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
荘園と国衙	平成26年4月～27年3月	須恵器大甕、墨書土器「草茂」「庄」、貞観寺田地目録(複製)、須恵器円面硯、鰐口(複製)

信濃武士と百姓のくらし

中テーマ 武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となった。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となっていった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
一所懸命	平成26年4月～26年9月	二宮氏泰奉書(複製)、二宮氏泰宛行書(複製)、市河頼房軍忠状(複製)、斯波義将感状(複製)、足利義満御教書(複製)
合戦図と武士の世界	平成26年9月～27年3月	八幡太郎図(館蔵)、馬相図巻(館蔵)、男衾三郎絵巻(複製)、川中島合戦之図(寄託)、軍扇(寄託)、川中島合戦図屏風(館蔵)

中テーマ 鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の祈り	平成26年4月～27年3月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍上人絵詞伝(複製)、一遍上人絵伝(複製)

中テーマ	展示期間	主な展示資料
鎌倉時代の善光寺門前 (実物環境復原)	平成25年4月～26年3月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

中テーマ 交通と流通

中世の信濃では、武士や寺社などが日本全国やアジア各地と盛んに交流し、たくさんの物資や文化がもたらされた。寺社の門前や荘園の要地には市が立ち、商業や交通が発達し貨幣が使用された。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
村の生活とまつり	平成26年4月～26年9月	伎楽面、獅子頭(武水別神社蔵)、松代藩五大祭絵巻八幡大頭祭絵巻(真田宝物館)
東アジアと信濃	平成26年9月～27年4月	大般若波羅密多經 二十二巻・五十二巻、湖亭春望図(館蔵)、青磁花瓶(館蔵)、青磁盤(館蔵)、宋銭(館蔵)

江戸時代の村と町の暮らし

中テーマ 領主と町・村

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る。官僚的な制度が確立し、文書によって広い地域を統一的に支配した。村には検地を受けて百姓身分となった人びとが住んだ。村役人の下、年貢を負担しながら生活したが、旅や年中行事等が盛んになっていった

小テーマ	展示期間	主な展示資料
大名と百姓	平成26年4月～26年9月	四季農耕図屏風（春、秋）、年貢掛札ほか
街道の風景	平成26年9月～27年3月	善光寺道名所図会、木曾街道六十九次続画、信州松本通見取絵図控ほか
正保の国絵図	平成26年4月～27年3月	正保の信濃国絵図、正保の郷帳ほか

中テーマ 庶民生活の高まり

農家のくらはは、18世紀に大きく変わった。農業技術が進んで収穫が増し、商品作物の栽培や諸かせぎも発達して収入を得、麻から木綿へ、1日2食から3食へなど、衣食住が向上し、村の社会生活も変わり始めた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
くらしの高まり	平成26年4月～27年3月	パネル「木綿と染色」「機織り機の変遷」、大麻・カラムシ等の実物
江戸時代の農家	平成26年4月～27年3月	江戸前期中層農家(実大環境復原)、農家で使った生活用品や作業用具

中テーマ 中馬と地場産業

貨幣経済の発達により、信濃国を通る中山道や北国街道などの街道を、様々な人や物が流通した。信濃では馬の背に荷物を積んで直接相手先へとどける中馬といわれる輸送手段が発達した。この中馬の活動と結びあって、信濃各地の地場産業が発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中馬と塩の道	平成26年4月～27年3月	ランドサット図
信州中馬	平成26年4月～27年3月	中馬装束模型

中山道福島宿	平成26年4月～27年3月	関札、錦絵（福島宿：復刻版）、旅装束、宿場絵図（福島宿）ほか
--------	---------------	--------------------------------

中テーマ 信州文化と民衆意識

江戸時代後半になると、庶民の手による庶民のための文化が各地で発達した。祭りの日には若者たちが化粧をして歌舞伎や人形芝居、相撲興行などを行った。庶民の生活文化は多様に展開し、近現代へとつながった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
豪農の世界	平成26年4月～27年3月	婚礼の祝い膳・重箱・化粧道具ほか
祭りの人形芝居	平成26年4月～27年3月	黒田人形（佐々木高綱）、映像「黒田人形」
文書の世界の広がり	平成26年4月～27年3月	寺子屋教具類（机・硯・筆・手習い本）、離縁状、善光寺地震の瓦版

世界につながる県民の暮らし

中テーマ 蚕糸王国長野県

江戸時代末から明治初めにかけて外国との交流が始まると、長野県はいち早く器械製糸をとりいれた。繭・蚕種・生糸などの生産の近代化をはかった結果、日本一の「蚕糸王国」となった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の誕生	平成26年4月～27年3月	伊那県日記、贋二分金、筑摩県長野県設置布告、筑摩県絵図、筑摩県の印章、信濃國合併布達
お蚕さま	平成26年4月～27年3月	蚕の発育順序模型、まぶし折り器、生糸製糸組合奉納絵馬
世界につながる蚕糸業	平成26年4月～27年3月	座繰器、繭の杓、商標シルクラベル
近代の製糸工場	平成26年4月～27年3月	富岡製糸場錦絵、埴科郡西条邑六工製糸場之図、女工募集告諭書、六工社沿革

工女の生活	平成26年4月～27年3月	製糸工女の服装、教婦の服装、工女の食事
-------	---------------	---------------------

中テーマ	展示期間	主な展示資料
近代の製糸工場（実大環境復原）	平成26年4月～27年3月	ボイラー・水車・繰糸器

中テーマ 信州の民権と大正デモクラシー

「国会を開き人民の代表を送ろう、政党をつくろう」という自由民権運動を長野県は全国に先がけてくり広げた。大正に入ると、デモクラシーの時代風潮をうけて個人を尊重する教育や、人権を尊重する運動を展開した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
自由大学運動	平成26年4月～27年3月	自由大学趣意書、自由大学雑誌、信南自由大学趣意書、伊那自由大学（雑誌）
信州教育	平成26年4月～27年3月	オルガン・燭台、算盤（五つ玉）、農民美術作品、裁縫教科書
おもちゃ（トピックス）	平成26年4月～27年3月	双六、キューピー人形

中テーマ 昭和恐慌と満州移民

蚕糸王国長野県は昭和初めの大恐慌で大打撃を受けた。そこから抜け出すため県は十五年戦争のさなか、満州（中国東北区）移民を積極的にすすめた。移民者や兵士たちの尊い命が奪われ「銃後」の県民も苦しんだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
打撃を受けた県民の暮らしと満州移民	平成26年4月～27年3月	雑誌（『拓友』『拓け満蒙』）、丸田恒雄満洲更級開拓郷スケッチ、『果てしなく黄色い花咲く丘が』

中テーマ 地域とくらしの変化

1945年、終戦を機に日本は民主主義の国として再出発した。1960年代から経済は大いに発展し、生活も向上した。そして今県民は過疎過密問題や開発と環境との調和など新しい問題に直面している。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
現代の光とかげ	平成26年4月～27年3月	写真パネル
経済の復興と庶民の暮らし	平成26年4月～27年3月	真空管ラジオ、足踏み式ミシン、電話機
長野県の高度経済成長	平成26年4月～27年3月	カラーテレビ、ナショナルホームラジオ、ナショナル電気こたつ、4号電話機、カメラ、腕時計
長野県人口のうつりかわり	平成25年4月～26年9月	パネル

マルチメディア 「マルチメディア 長野県の歴史散歩」

一次メニュー	二次メニュー
各時代をみる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を映像と解説でみて調べる
各時代をくらべる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を比較しながらその違いを学習する
歴史クイズ	原始・古代・中世・近世・近現代コーナーと全時代から歴史クイズを出題
歴史ビデオ	大地に歴史を掘る 古代高速道・東山道 木曾式伐木運材図絵 犀川線のあゆみ
唱歌・童謡のふるさと信州	県内を代表的する唱歌・童謡の歌詞 楽しく学べる童謡・唱歌クイズ

屋外展示 歴史のこみち

中テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文の森	平成26年4月～27年3月	植栽

5000～ 6000年前、縄文人が生活の舞台とした森は、クリ、コナラ、クヌギなどの木の実をもたらし、縄文人はこれら森の資源を積極的に活用し、 アク（シブ）をぬいたりして食べた。また、漆を使って木器や土器を美しく仕上げた。		敷石住居跡
万葉の野	平成26年4月～27年3月	植栽
古代の野は、原則としてだれもが自由に利用できる地であり、その動植物は人びとの生活にとってかかせないものであった。人びとの心情は、万葉集の数多くの歌に詠まれている。		竪穴式石室
中世の林	平成26年4月～27年3月	植栽
中世では、屋敷のまわりに柿・梨・胡桃・柘榴・唐桃などの果物類が植えてあった。村のあちこちには栗林や竹林もあった。		五輪塔群

(3) 新規小テーマの概要

土している。これらのことは朝鮮半島から馬とともに乗馬と馬生産の技術が伝えられたことを物語っている。

『寒冷化する環境の中で』

縄文時代中期の中頃以降、気候は寒冷・湿潤化に向かった。ただし、中期の段階では、植物質食料を主とした生業システムを充実・深化させることで、「森の縄文文化」は頂点に達した。しかし、後期に入ると一段と進む寒冷・湿潤化に適応する必要が生じてきた。

寒冷化への対応として、住居の立地や構造による直接的な対応がみられた。柄鏡形住居や集落立地の移動をパネルで展示した。また実質的な生産技術の改善だけでは気候の変動に対処しきれなくなったためか儀礼や祭祀が発達し、それに係わる土偶や土面、石棒などを展示した。

『馬と科野の武人』

現在、長野県において最も古い馬の存在は、長野市篠ノ井遺跡群出土の4世紀後半の馬とされている。しかしこの馬はどのような目的で当時の人々と接していたかについては、現段階では不明である。

5世紀後半、シナノにおいても馬の埋葬（殉葬）や馬具の副葬が見られるようになる。須坂市や佐久市、茅野市、岡谷市など県内各地で鏡板付轡・杏葉、鐙などが出土している。

長野県（シナノ）では、日本全国から出土している古墳時代馬具の二割以上が出

2 企画展示等

●館蔵品展

開館 20 周年 館蔵品展 歴史に煌(きら)
めく日本の美 ー信濃を彩る名品たちー
会期＝平成 26 年 6 月 14 日(土)～7 月 13
日(日)

入場者数＝4,794 人

主催＝長野県立歴史館

後援＝信濃毎日新聞社 朝日新聞長野総局
読売新聞長野支局 毎日新聞長野支局 中
日新聞社 長野市民新聞社 市民タイムス
市民新聞グループ(7 紙) 長野日報社 南
信州新聞社 NHK長野放送局 SBC 信越
放送 NBS長野放送 TSB テレビ信州 abn
長野朝日放送 信州ケーブルテレビジョン
INC 長野ケーブルテレビ テレビ松本 F
M長野 FMぜんこうじ 屋代有線放送
(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

古来より長野県は、東日本と西日本を、
あるいは太平洋側と日本海側を結ぶ結節点
として、独自の風土と文化をはぐくんでき
た。

その中で、開館 20 周年を迎える長野県立
歴史館は、信濃国・長野県の歴史的背景と
変遷を明らかにし、歴史学習を深められる
場を提供するため、様々な活動を行ってき
ている。その一環として、信濃の歴史や生
活風土の諸相を示す史資料や、長野県と関
係深い美術工芸品の収集につとめてきた。

本展では、「世界最古級の磨製石器」と目
される石斧、縄文土器、曼荼羅や来迎図な
どの仏教画、合戦図・風俗図などの屏風、
さらには錦絵や日本刀など、初公開作品 5

点を含む当館所蔵の優品 34 点を一堂に展
覧した。長野県立歴史館のコレクションを
お楽しみいただいた。

〈展示構成〉

1 考古資料

2 近世絵画

3 錦絵

4 刀剣

5 古写経・仏画

主な展示資料：

斧形石器 日向林 B 遺跡

翡翠製垂飾 上木戸遺跡

動物装飾付釣手土器 札沢遺跡

灰釉四耳壺 観音平経塚

浦島縁起絵 紙本著色

笠懸犬追物図屏風 紙本著色

岐阻街道奈良井宿名産店之図 木版、紙
木曾街道六十九次の内 軽井沢 木版、紙
太刀「銘不明(*正恒)」

脇差「信舍」

脇差「(菊紋)島田小十郎助宗」

百万塔(附無垢浄光経陀羅尼)

法華経譬喩品第三断簡(藤南家経)

一字宝塔法華経(戸隠切)

大乘密厳経 卷中(中尊寺経) 紺紙金銀書

阿弥陀如来像 絹本著色

阿弥陀三尊二十五菩薩来迎図 絹本著色

金剛界曼荼羅 絹本著色

一光三尊像 絹本著色

〈行事〉

(1) 講演会

平成 26 年 6 月 14 日(土) / 講師＝矢島 新
氏(跡見学園女子大学文学部教授) / 演
題＝「日本美術のオリジナリティ」 / 参

加者=30人

(2) 講座

平成26年7月5日(土) / 講師=伊藤 羊子氏(長野県信濃美術館学芸員) / 演題=「歴史館所蔵の美術工芸品案内」 / 参加者=32人

〈担当〉

総合情報課 林 誠、岸田 恵理

● 夏季展

「山とともに生きるー「信州山の日」制定を記念して」

平成26年7月26日(土)

～8月31日(日)

入場者数=4,592人

主催:長野県立歴史館

後援:信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・信州・市民新聞グループ(7紙)・長野日報・南信州新聞社・NHK長野放送局・SBC 信越放送・NBS長野放送・TSBテレビ信州・abn長野朝日放送・信州ケーブルテレビジョン・INC長野ケーブルテレビ・テレビ松本・FM長野・FMぜんこうじ・屋代有線放送・(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

原始から現代まで、信州は山からの資源、すなわち「山の恵み」に支えられてきました。この貴重な資源はまた、信州のみならず周辺地域にももたらされ、多くの人々の生活をも支えていた。3,000m級の山岳から身近な里山までの「山」を活用し得られた

「山の恵み」は、歴史のなかで、物質的資源にとどまらず、山の景観や信仰・登山など精神的な資源としても活用され、長野県民共通の財産として大切に守られてきている。今回の展示では、遺跡から始まり、資源、観光等を含めた歴史的視点から「山」と人々の関わりをあらためて振り返ってみた。

〈展示構成〉

1 山の恵み

①道具の素材を求めて

②食料を求めて

③山への感謝・祈り

2 山で生きた人びとの暮らしと生業

3 山をたのしむ

①近代登山と山人

②島木赤彦と山

③山へのまなざし

④大衆化する登山

パネル展示 県内の校歌に詠まれた山々

〈主な展示資料〉

南箕輪村神子柴遺跡出土石器(重要文化財)

長和町星糞峠黒曜石採掘坑関連遺物

下諏訪町星ヶ塔遺跡黒曜石採掘坑関連遺物

黒曜石原石

信濃町貫ノ木遺跡出土石器

中野市栗林遺跡出土石器

石棒

木曾式伐木運材図会

奈良井宿庄屋口上書

今様櫛 雛形

信濃奇勝録

ウェストンから上條嘉門次へ贈られたピッ

ケル・絵画・アルバム

上條嘉門次愛用の村田銃

『信濃教育』393号

赤彦遺品（帽子、硯、筆、バスケット）

八ヶ岳登山歌十首（短冊10枚、額装）

阿羅木 創刊号（復刻）

アララギ

青木雪卿「感応公丁未震災後封内巡視之図」

志賀重昂『日本風景論』再版、5版、15版

小島烏水『日本アルプス』第1巻～第3巻

丸山晚霞「日本アルプス写生旅行」より

丸山晚霞 盛夏

丸山晚霞 高原の秋草

丸山晚霞 白馬三山

大下藤次郎 六月の穂高岳

『山と溪谷』第二号

『アルピニズム』創刊号

『登山とスキー』創刊号

『ケルン』創刊号

観光パンフレット

日本アルプス案内

中部山岳国立公園と信濃鉄道

松本市を中心とする日本アルプス大観

北アルプス登山案内 昭和11年版

日本アルプスの盟主 白馬岳

〈行事〉

（1）講演会

7月26日（土） 13:30～15:00

「飯綱信仰について」

講師 小山 丈夫 氏

（いいづな歴史ふれあい館学芸員）

参加者 84名

（2）講座

8月20日（水） 10:30～12:30

「近代化の開発拠点」

講師 市川 正夫（当館学芸部長）

参加者数 55名

〈印刷物〉

・ポスター B2判、片面カラー 2,000部

・チラシ A4判 2P、両面カラー 20,000部

〈担当〉

総合情報課 林 誠、宮本 博、市川 厚、
金澤 大典

考古資料課 上田 典男

文献史料課 徳嵩 隆治

● 秋季企画展

平成26年度秋季企画展

「信濃武士の決断—信長・秀吉・家康の時代」

平成26年9月27日（土）～11月9日（日）

入場者＝7,052人

主催＝長野県立歴史館

協力＝千曲市教育委員会、松代文化施設
等管理事務所真田宝物館

後援＝信濃毎日新聞社 朝日新聞長野総局
読売新聞長野支局 毎日新聞長野支局 中
日新聞社 長野市民新聞社 市民タイムス
信州・市民新聞グループ（7紙） 長野日報
社 南信州新聞社 NHK長野放送局 SBC信
越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州
abn長野朝日放送 信州ケーブルテレビジ
ョン INC長野ケーブルテレビジョン テ
レビ松本 FM長野 FMぜんこうじ 屋代有
線放送電話農業協同組合（公財）八十二文
化財団

〈展示趣旨〉

天下布武を旗印とした織田信長による武

田氏滅亡、本能寺の変後の信長政権の崩壊により、信濃国は混迷極める「信濃戦国時代」に再び突入する。上杉・北条・徳川の三つ巴の勢力が信濃に攻め込んでくる状況の下で、戦いの目的は個々の所領を守ることからやがて天下統一の方向へと日本全体が大きく転換し始める。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が主導した天下統一にむけた日本史上の一大転換期という歴史の流れを背景として示しながら、信濃武士たちはどのように対応し生きぬいてきたのか、屋代氏を中心に、依田・小笠原・木曾・知久・矢沢・真田など在地武士の動向を紹介した。また、東西勢力の交差点に位置した信濃国を、時の為政者がどのように利用したのか、豊臣秀吉の天下統一以後、信濃から他国へ、他国から信濃へという領主たちの勢力交代（転封・移封）や、江戸幕府による領国編制の過程で、屋代氏などそれまで信濃に根拠を持っていた武士たちはどのようなようになったのかなど、江戸時代におけるその姿を示すことで、新たな近世的秩序ができあがったことを示す。

〈展示構成〉

- 第1章 信長の信濃侵攻
- 第2章 信濃戦国時代
- 第3章 秀吉の平和と信濃武士
- 第4章 天下統一と信濃武士

〈主な展示資料〉

第1章

信綱所用の鎧(信綱寺)、南蛮兜(岐阜市博)、火縄銃(依田資料)、経帷子(屋代家資料)、信長禁制(松川町・個人)、ほか

第2章

上杉・北条・徳川の発行した宛行状(真田・屋代・依田・小笠原・木曾・知久ほか)、ほか

第3章

秀吉朱印状・三原の刀・茶壺・唐冠形兜・吉光(真田宝物館)、豊臣秀吉書状・豊臣秀吉朱印状・徳川秀忠書状(依田家資料・個人・当館)、ほか

第4章

関ヶ原合戦関係資料(絵巻ほか)、金紙采配等・知行目録(依田家資料・個人・当館)、洛中洛外図屏風(岐阜市歴博)、系譜(屋代家資料・千曲市)ほか

〈行事〉

(1) 講演会(終了後 展示解説 80人)

10月25日(土) 午後1時30分～

会場＝講堂 参加者＝177人

「織豊時代の終焉と天下統一」

国立歴史民俗博物館名誉教授・総合研究大学院大学名誉教授 井原 今朝男 氏

(2) 講座(終了後 展示解説 80人)

午後1時30分～

9月27日(土) 午後1時30分～

会場＝講堂 参加者＝139人

「信長・秀吉・家康と信濃武士」

講師 福島 正樹(当館総合情報課長)

遠藤 公洋(当館文献史料課専門

主事)

(3) ギャラリートーク

10月5日(日)・19日(日) 午後1時30分～

会場＝企画展示室 参加者＝50人

講師 当館職員

(4) イベント

「屋代城に登ろう」

10月26日(日) 午後1時30分～

参加者＝11人

案内 当館職員

〈担当者〉

総合情報課 福島 正樹、中野 亮一、
畔上 不二男、

文献史料課 遠藤 公洋

総合情報課旧職員 山崎 会理 氏

● 冬季展

「縄文土器展

～デコボコかざりのはじまり～

平成 26 年 11 月 29 日（土）

～平成 27 年 2 月 1 日（日）

入場者数＝2,131 人

主催：長野県立歴史館

後援：信濃毎日新聞社・朝日新聞長野
総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長
野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・
市民タイムス・信州・市民新聞グルー
プ（7 紙）・長野日報社・南信州新聞
社・NHK 長野放送局・SBC 信越放
送・NBS 長野放送・TSB テレビ信
州・abn 長野朝日放送・信州ケーブ
ルテレビジョン・INC 長野ケーブル
テレビ・テレビ松本・FM 長野・FM
ぜんこうじ・屋代有線放送・（公財）
八十二文化財団

〈展示趣旨〉

「縄文王国」と呼ばれる長野県は、約 5,000 年前の縄文時代中期に繁栄期を迎え、特に八ヶ岳西南麓地域は日本列島の中でも有数の遺跡密集地となった。この繁栄を象徴するのが、めざましく発達した土器装飾である。この時期の縄文土器は、器面に粘土を貼り付け、器としての用途を阻害してまでも、立体的（デコボコ）な装飾を施す点に特色がある。これは、線描きや彩色して文様を描く、世界の同時代の土器と異なり、強い独自性を示している。

今回の展示では、土器装飾のデコボコ化が急速に進む時期にスポットをあて、実物の土器から装飾の変化を読みとって

もらうことを主眼とした。同時に、地域間の交流関係が土器装飾の発展を促している点について、周辺地域の土器と比較できるように展示を行った。さらに、立体的な装飾で表現しようとした縄文時代中期の世界観の成立と、その歴史的背景について紹介した。

〈展示構成〉

I クールジャパンの原点

II デコボコかざりへの道

III 魅せる！造形へ

IV デコボコかざりが始まった頃

V 飛び出す！貼り付く！ヘビやヒト

VI 境つらぬるクニの土器

VII 競い合う立体装飾へ

〈主な展示資料〉

I 長峯遺跡出土品（茅野市尖石縄文考古館）

II 宮ノ上遺跡出土品（甲州市ぶどうの国文化館）、鴨田遺跡出土品（茅野市尖石縄文考古館）、屋代遺跡群出土品（当館）

III 大石遺跡出土品（原村八ヶ岳高原美術館）、大ダッショ遺跡出土品（諏訪市博物館）、棚畑遺跡出土品（茅野市尖石縄文考古館）、平出遺跡出土品（塩尻市平出博物館）

IV 猪沢遺跡・井戸尻遺跡出土品（富士見町井戸尻考古館）、新道遺跡出土品（諏訪市博物館）、後田原遺跡出土品（諏訪市博物館、岡谷市美術考古館）

V 寺所第Ⅱ遺跡（北杜市考古資料館）、比丘尼原遺跡・大石遺跡出土品（原村教育委員会）、梨ノ木遺跡出土品（茅野市尖石縄文考古館）

VI東畑遺跡出土品（筑北村考古資料館）、
梨久保遺跡出土品（岡谷市美術考古館）、
真行寺遺跡・久保在家遺跡出土品（東
御市教育委員会）、後沖遺跡出土品（佐
久市）、平出遺跡・床尾中央遺跡・堂
の前遺跡出土品（塩尻市平出博物館）

〈行事〉

（1）関連講座

11月29日（土）13：30～15：00

「デコボコかざりのはじまり」

講師 寺内 隆夫 当館考古資料
課

参加者 62名

（2）関連イベント

12月20日（土）「縄文風クリスマス
リース・ゾートロープを作ろう」

参加者 17名

1月10日（土）「からだで表現！デコ
ボコかざり撮影会」

参加者 41名

2月1日（日）「縄文土器写生・ぬり
絵等優秀作品表彰式」

参加者 94名

毎週土・日、祝日

土器スケッチ「ホンモノの土器を描
こう！」

作品数 93点

〈印刷物〉

図録 B5判 カラー128P 1,000部
（一般書籍として信毎書籍出版センタ
ーから別途1,000部刊行）

ポスター B2判 表カラー2,000部

チラシ A4判×2ページ（表裏）

・ 20,000部

〈担当〉

総合情報課 林 誠

考古資料課 寺内 隆夫

● 速報展

「長野県の遺跡発掘 2014」

長野県埋蔵文化財センター速報展

同時展示：市町村教育委員会調査速報展

平成26年3月21日（金）～

平成26年6月1日（日）

入場者数＝12,680人（H26年度計）

主催：長野県埋蔵文化財センター・長野
県伊那文化会館・長野県立歴史館

後援：長野県・信濃毎日新聞社・朝日新
聞社長野総局・読売新聞長野支局・毎日
新聞長野支局・中日新聞社・NHK長野
放送局・SBC信越放送・NBS長野放送・
TSBテレビ信州・abn長野朝日放送・
FM長野・FMぜんこうじ・信州ケーブ
ルテレビジョン・INC長野ケーブルテ
レビ・屋代優先放送・長野市民新聞社・

（公財）八十二文化財団

協力：長野市教育委員会・松本市教育委
員会・飯田市教育委員会・飯山市教育委
員会・佐久市教育委員会・高森町教育委
員会・大桑村教育委員会

〈展示趣旨〉

今回の展示会では、長野県埋蔵文化財
センターが主に平成25（2013）年度に
調査した成果と、県内市町村教育委員会
が調査した成果、さらにその中で近世城
郭・城下町発掘についてのテーマ展示を
行った。

〈展示した主な遺跡〉

- 1 長野県埋蔵文化財センター調査遺跡
南大原遺跡・琵琶島遺跡(中野市)、
塩崎遺跡群・浅川扇状地遺跡群(長野市)、高尾 A 遺跡・高尾 5 号墳・
小山の神 B 遺跡・西近津遺跡群・
周防畑遺跡群・森平遺跡(佐久市)、
満り久保遺跡(佐久穂町)、矢出川
第Ⅷ遺跡(南牧村)、海岸寺遺跡(松
本市)、神之峯城跡(飯田市)、
- 2 市町村教育委員会調査遺跡
西近津遺跡群(佐久市)、下条Ⅲ遺
跡(大桑村)、角田原遺跡(高森町)、
恒川遺跡群(飯田市)、
- 3 テーマ展示「長野県の近世城郭・城
下町発掘最前線」(市町村教育委員会
調査遺跡)
松代城下町跡(長野市)、松本城大手
門枳形跡(松本市)、飯田城下町遺跡
(飯田市)、飯山城跡・北町遺跡(飯
山市)

〈主な展示資料〉

佐久市西近津遺跡群出土墓に供えられていた壺(弥生時代後期)、中野市南大原遺跡のつぶれて出土した大きな壺(弥生時代中期)、長野市浅川扇状地遺跡群出土溝からまとまって出土した「赤い土器」(弥生時代末)、長野市浅川扇状地遺跡群出土 5 つの甕が詰められたカマド(古墳時代中期)、佐久市小山の神 B 遺跡出土石で煙だしをつくったカマド(平安時代)、長野市塩崎遺跡群出土ヒスイの勾玉と県内最大級の原石(弥生時代中期)等

〈行事〉

(1)遺跡報告会

4 月 19 日(土) 13:30~15:30

「長野県の近世城郭・城下町発掘最前線」

・松本城大手門枳形跡

講師：松本市教育委員会

福沢 佳典 氏

・飯田城下町遺跡

講師：飯田市教育委員会

馬場 保之 氏

・松代城下町跡

講師：長野市教育委員会

飯島 哲也 氏

参加者 62 名

(2)埋文体験デー

4 月 27 日(日) 10:00~15:00

発掘や整理、機器を使った仕事を体験。

参加者 140 名

バックヤード探検

参加者 76 名

〈印刷物〉(伊那会場共通)

・ポスター B2 判、表カラー 2,300 部

・チラシ A4 判、カラー 33,000 部

〈担 当〉

考古資料課 原 明芳

総合情報課 中野 亮一

「長野県の遺跡発掘 2014(伊那会場)」

平成 26 年 7 月 19 日(土) ~

8 月 24 日(日)

入場者=1,602 人

〈行事〉

(1)講演会・遺跡報告会

7月26日(土)

遺跡報告会 13:00～13:50

「信州の弥生集落-北・南-」

・上伊那の弥生集落-辰野町

荒神山おんまわし遺跡-

辰野町教育委員会

福島 永 氏

・善光寺平の弥生集落-長野市

塩崎遺跡群-

長野県埋蔵文化財センター

西 香子 氏

講演会 14:00～15:00

「伊那谷の弥生文化の展開」

講師 飯田市上郷考古博物館長

市澤 英利 氏

参加者 59名

(2)伊那文こどもまつり(埋文体験教室)

8月23日(土) 10:00～15:00

参加者 481名

〈担 当〉

考古資料課 上田 典男

総合情報課 中野 亮一

● 春季企画展

平成26年度 北陸新幹線長野・金沢間開
業記念 春季企画展

「山と海の廻廊をゆく-信濃と北陸をつなぐ
道-」

平成27年2月28日(土)～5月17日(日)

入場者=1,763人(3月末日現在)

主催=長野県立歴史館

後援=信濃毎日新聞社 朝日新聞長野総局

読売新聞長野支局 毎日新聞長野支局 中

日新聞社 市民タイムス 信州・市民新聞
グループ(7紙) 長野市民新聞社 長野日
報社 南信州新聞社 NHK長野放送局 SBC
信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州
abn長野朝日放送 信州ケーブルテレビジ
ョン INC長野ケーブルテレビ テレビ松
本 FM長野 FMぜんこうじ 屋代有線放送
電話農業協同組合(公財)八十二文化財団
JR東日本 長野支社 しなの鉄道(株)

〈展示趣旨〉

信濃国、長野県は本州中部にあって「十
州に境連ぬる」とうたわれるように東西南
北のさまざまな地域との交流の中でその
歴史が形成されてきた。地域と地域をむす
ぶのは道であり、山岳地帯に立地する当地
の場合は、その道の多くは険しい峠を越え
ていくものであった。その中で、北に向か
う、視点を変えれば北からやってくる道
は、原始から現代まで日本海沿岸と内陸を
むすぶ重要な道として存在してきた。本年
は新幹線が長野から金沢まで延伸になり、
また数えて「七年に一度」行われる善光寺
前立本尊御開帳の年にあたり、長野県と北
陸各県をはじめ、さまざまな地域との交流
がますます盛んになる。本企画展では、古
より連綿と紡がれてきた信濃と北陸各地
域との歴史的なむすびつきに関わる貴重
な資料を展示し、地域間交流についての理
解を深めたい。

〈展示構成〉

【テーマ1】シナノの文化コシの文化

【テーマ2】信濃国と北陸道諸国

【テーマ3】旭将軍義仲

【テーマ4】街道をゆきかう

【テーマ5】北信越の近代化とむすびつき

〈主な展示資料〉

長野市宮崎遺跡出土品
塩尻市上木戸遺跡出土垂飾
長野市松原遺跡出土栗林式土器
北陸各地域出土栗林式土器
長野女子高校校庭遺跡出土土器
北陸各地域出土法仏式土器
長岡市八幡林木簡・墨書土器
富山市水橋荒町・辻ヶ堂遺跡出土品
津幡町加茂遺跡出土資料
小矢部市桜町遺跡出土品
射水市赤井南遺跡出土品人面墨書土器
木曾義仲合戦図屏風（当館）
木曾義仲合戦図屏風（国立歴史民俗博物館）
木曾義仲合戦図屏風（千葉市美術館）
市川文書巻一（当館）
木曾義仲下文写（雑録追加巻七）
善光寺聖智教房譲渡状
七人比丘尼
矢代宿本陣柿崎家文書
大名行列絵巻
下街道参勤交代図巻
下道中絵巻
明治天皇北陸道御巡幸図
長野学校生徒洋服
直江津上野間鉄道雙六各駅真景

イ 時間 A午後1時30分～午後2時20分
B午後3時40分～午後4時20分
ウ 場所 企画展示室
エ 内容 職員による展示全体の解説を行う。

〈印刷物〉（伊那会場共通）

図録 A4判 79P 1,000部
ポスター B2判 表カラー2,100部
B1判 表カラー 30部
チラシ A4判×2ページ（表裏）
23,000部
リーフレット A3判二つ折り 13,000枚
招待券（3,000枚）

〈担当者〉

総合情報課 傳田 伊史、宮本 博
市川 厚、金澤 大典
考古資料課 白沢 勝彦

〈行事〉

（1）展示解説

ア 期日 A 2月28日（土）
B 3月7日（土）
A 3月14日（土）
A 3月21日（土）
A 3月28日（土）

Ⅲ 教育普及公開

1 学校・団体見学 実施記録

(1) 学校見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス	人数	引率	解説	バックヤード	備考
4/8	火	9:00-11:00	屋代高校附属中学校1年生	2	80	5	1	1	文書書庫・遺物収蔵庫見学
4/11	金	11:05-12:35	信濃町立信濃小学校6年生	3	77	6	1		
4/15	火	9:00-10:20	千曲市立屋代小学校6年生	3	79	5	1	1	
4/16	水	9:10-11:00	長野市立加茂小学校6年生	2	40	2	1	1	
4/17	木	10:00-11:30	須坂市立須坂小学校6年生	1	20	1	1	1	2校合同 映像歴史年表視聴
			須坂支援学校6年生	1	2	1	1	1	
4/18	金	9:50-11:30	小川村立小川小学校6年生	1	23	2	1	1	
		9:50-10:50	長野市立塩崎小学校6年生	2	44	3	1		
4/20	日	13:45-16:15	駒澤大学文学部歴史学科	3	240	20		1	文書書庫・遺物収蔵庫見学
4/24	木	9:40-10:40	上田市立神川小学校6年生	3	78	5			
		10:05-11:15 13:00-14:10	安曇野市豊科南小学校6年生	4	112	6		1	
		12:30-14:00	木島平村立木島平小学校6年生	2	48	2	1		
4/25	金	9:50-10:50	長野市立東条小学校6年生	2	44	3	1		
		10:00-11:00	坂城町立南条小学校6年生	2	63	3	1		
		13:30-12:00	千曲市立五加小学校6年生	2	63	3	1	1	
		12:00-14:00	長野市立昭和小学校6年生	4	123	5	1		
4/30	水	9:00-10:30	須坂市立小山小学校6年生	3	82	3	1	1	
		10:00-11:39	飯山市立常盤小学校6年生	1	17	1	1	1	
		10:50-11:50	御代田町立御代田南小学校6年生	3	103	5	1		
		13:00-15:10	須坂市立日滝小学校6年生	2	53	3	1	1	
5/1	木	9:00-10:10	長野市立松代小学校6年生	2	44	2	1		
		9:00-10:30	長野市立湯谷小学校6年生	4	112	5	1		
		9:30-11:00	松本市立田川小学校6年生	2	48	4	1	1	
		10:45-12:15	安曇野市立穂高北小学校6年生	5	148	7	1		
		11:30-12:30	長野市立綿内小学校6年生	3	98	4	1		
		12:00-13:20	長野市立山王小学校6年生	2	53	4	1		
		13:30-14:50	安曇野市立堀金小学校6年生	4	114	5	1		
		13:00-14:30	長野市立信州新町小学校6年生	1	27	3	1	1	
5/2	金	9:00-10:30	安曇野市立豊科北小学校6年生	4	111	5	1		
		9:00-10:30	中野市立平岡小学校6年生	2	50	3	1		
		9:40-10:30	長和町立和田小学校6年生	1	14	2	1		
		10:00-11:00	安曇野市立明南小学校6年生	2	54	3	1		
		10:30-12:00	信州大学教育学部附属長野小学校6年生	2	78	3	1	1	
		10:40-11:40	長野市立緑ヶ丘小学校6年生	4	128	5	1		

5/2	金	11:30-12:45	長野市立城山小学校5年生	3	87	5	1		
		12:15-13:15	長野市立信里小学校5, 6年生	2	20	4	1	1	
		12:40-13:40	長野市立徳間小学校6年生	5	147	7			
		12:45-14:45	長野市立松ヶ丘小学校6年生	2	63	3	1	1	
		12:55-14:00	飯綱町立三水第二小学校5, 6年生	2	24	4			
		13:30-15:00	飯綱町立牟礼東小学校6年生	1	33	4	1		
5/8	木	9:10-10:30	上田市立川西小学校6年生	2	37	2	1		
		9:20-10:20	上田市立丸子中央小学校6年生	3	74	4	1		
		9:30-11:50	長野市立鍋屋田小学校6年生	2	53	3	1	1	
		10:30-12:00	千曲市立治田小学校6年生	2	72	3	1		
		10:30-12:00	岡谷市立岡谷小学校6年生	1	35	3	1	1	
		10:30-11:30	長野市立篠ノ井東小学校6年生	2	61	3	1		
		13:00-14:30	池田町立池田小学校6年生	2	41	4	1		
5/9	金	9:00-10:30	上田市立北小学校6年生	3	105	4	1	1	
		9:00-10:10	須坂市立仁礼小学校6年生	2	44	3	1		
		10:00-11:00	長野市立古牧小学校6年生	3	99	5	1		
		10:00-11:00	長野市立川田小学校6年生	1	32	2	1		
		10:30-11:40	長野市立大豆島小学校6年生	4	129	5	1		
		11:00-12:20	上田市立東小学校6年生	4	106	5	1	1	
		12:00-13:00	長野市立三輪小学校6年生	3	75	4	1		
		13:00-14:15	上田市立東塩田小学校6年生	2	60	3	1		
		14:00-15:30	長野市立青木島小学校6年生	3	103	4	1	1	
5/10	土	13:00-14:00	原峠保養園（児童養護施設）	1	22	15		1	
5/13	火	9:00-10:30	安曇野市立穂高西小学校6年生	2	72	4	1	1	
		9:30-11:00	長野市立下氷鉋小学校6年生	5	151	6	1		
		12:30-14:30	練馬区立豊玉南小学校6年生	2	74	9	1	1	
		12:30-14:00	長野市立城東小学校6年生	2	70	4	1	1	
5/14	水	9:00-10:40	飯田市立東中学校2年生	3	88	8	1		平和学習に関する講義
		9:30-11:30	茅野市立宮川小学校6年生	4	133	5	1	1	
5/15	木	9:40-11:40	長野市立通明小学校6年生	4	128	5	1	1	
		12:30-14:30	佐久市岩村田小学校6年生	5	164	8	1		
		13:00-14:30	佐久市立岸野小学校6年生	1	35	2	1	1	
5/16	金	9:00-10:15	上田市立川辺小学校6年生	4	119	4	1		
		9:20-10:30	上田市立神科小学校6年生	3	105	4	1		
		10:20-11:30	小諸市立美南ヶ丘小学校6年生	4	140	5	1		
		10:30-12:00	軽井沢中部小学校6年生	3	83	3	1	1	
		12:15-13:45	長野市立大岡小学校6年生	1	9	1	1	1	
		12:40-14:20	須坂市立井上小学校6年生	2	45	2	1	1	
		13:00-14:00	若槻養護学校中学部1・2・3学年	1	5	5	1		
		13:30-15:00	上田市立塩尻小学校6年生	1	27	2	1		
5/17	土	9:40-11:10	大田区立開桜小学校6年生	2	64	7	1	1	

5/20	火	9:00-10:00	上田市立清明小学校6年生	2	64	3	1	
		9:30-11:00	須坂市立豊丘小学校6年生	1	17	2	1	1
		10:00-10:20	栄村立栄小学校6年生	1	21	2	1	1
			栄村立秋山小学校6年生	1	1	1	1	1
		10:30-12:00	練馬区立立野小学校6年生	2	68	9	1	1
		11:00-12:30	北相木村立北相木小学校6年生	1	7	3	1	1
			南相木村立南相木小学校6年生	1	18	1	1	1
		13:00-14:30	長野市立若槻小学校6年生	3	83	4	1	1
5/21	水	13:00-14:00	滋野保育園年長	2	145	10	1	
			北御牧保育園年長	2			1	
5/22	木	9:20-10:30	池田町立会染小学校6年生	2	58	4	1	
		11:00-12:30	長野市立古里小学校6年生	3	105	5	1	1
		13:00-14:30	生坂町立生坂小学校6年生	1	13	3	1	1
5/23	金	9:30-11:00	中野市立中野小学校6年生	4	142	8	1	
		9:15-10:45	長野市立豊野東小学校6年生	1	31	3	1	1
		11:00-12:00	長野市立裾花小学校6年生	4	121	5	1	
		11:00-14:00	白馬村立白馬北小学校6年生	2	58	3	1	1
		12:30-14:00	上田市立中塩田小学校6年生	3	106	5	1	1
		13:30-14:30	千曲市立更級小学校6年生	2	43	2	1	
		12:30-13:00	つましな保育園	3	40	8	1	
5/25	日	13:00-14:30	大田区立おなづか小学校6年生	3	74	6	1	1
		14:10-16:00	大田区立大森第三小学校6年生	2	70	7	1	1
5/27	火	9:00-9:50	千曲市立埴生小学校6年生	3	91	4	1	
		10:45-12:15	練馬区立石神井東小学校6年生	2	48	8	1	1
		12:45-14:15	練馬区立関町小学校6年生	3	113	10	1	1
		14:00-15:30	上田市立城下小学校6年生	3	83	4	1	1
5/28	水	13:30-15:00	中野区立西中野小学校5・6年生	4	86	11		1
		11:20-12:15	長野南幼稚園年長組	4	88	5		
		11:30～	国土館大学		68			
5/29	木	9:30-11:00	軽井沢町東部小学校6年生	1	32	3	1	1
		14:20-15:00	大田区立馬込小学校6年生	3	89	8		1
5/30	金	9:00-10:30	坂城町立坂城小学校6年生	2	48	3	1	1
		10:30-12:00	飯山高等学校2年生	3	108	6		1
		12:30-14:25	野沢温泉村立野沢温泉小学校6年生	1	32	2	1	1
5/31	土	11:00-12:00	大田区立入新井第五小学校6年生	2	67	7		1
6/1	日	12:30-13:30	大田区立蒲田小学校6年生	2	74	6	1	1
6/5	木	9:00-10:30	練馬区立仲町小学校6年生	4	142	11	1	
		10:30-11:55	塩尻市立広丘小学校6年生	3	108	6	1	1
		11:00-11:50	長野市立松代中間教室	1	4	2		
		13:30-14:30	喬木村立喬木第二小学校4年生	1	12	3	1	
6/6	金	11:20-12:50 13:45-14:45	穎明館中学校1年生	5	189	11		
		11:40-12:40	練馬区立八坂小学校6年生	2	73	9	1	

6/6	金	12:00-13:00	練馬区立光が丘春の風小学校6年生	2	80	8	1		
		12:30-14:00	中野市立高丘小学校6年生	2	49	2	1	1	
6/8	日	13:00-14:30	大田区立南蒲小学校6年生	2	61	6	1	1	
6/10	火	10:30-12:00	練馬区立小竹小学校6年生	2	41	7	1	1	
		13:00-15:00	大田区立池上第二小学校6年生	3	81	8		1	
6/12	木	9:00-10:00	練馬区立北町小学校6年生	3	91	10	1		
		11:00-13:00	中野区立鷺宮小学校5年生	2	49	8	1	1	
6/13	金	9:00-10:30	長野市立浅川小学校6年生	3	72	4	1	1	
		9:30-11:00	須坂市立森上小学校6年生	2	67	3	1		
		10:30-12:30	長野市立三本柳小学校6年生	4	130	5	1	1	
		10:00-14:00	松本市立波田小学校6年生	5	165	7	1		講堂にて映像
		13:10-14:15	大田区立新井第二小学校6年生	2	72	6	1		
6/14	土	10:20-11:20	大田区立多摩川小学校6年生	3	91	8	1		
6/15	日	12:45-14:45	大田区立馬込第二小学校6年生	2	64	7	1		
6/17	火	9:00-10:30	長野市立川中島小学校6年生	3	88	4	1	1	
		11:40-14:00	長野市立篠ノ井西小学校6年生	5	169	7	1	1	
6/19	木	14:30-15:30	千曲市立東小アプリコットタイム	1	19	1		1	バックヤード探検
6/20	金	9:15-10:45	安曇野市立豊科東小学校6年生	2	49	3	1	1	
		11:30-13:30	松川村立松川小学校6年生	4	111	7	1	1	
6/22	日	12:20-13:10	大田区立池雪小学校6年生	5	182	13			
		13:10-14:30							
6/24	火	9:30-11:00	辰野町立辰野東小学校6年生	2	58	4	1	1	
		10:30-12:00	練馬区立富士見台小学校6年生	4	127	10	1	1	
		13:00-14:30							
6/25	水	12:30-14:00	中野区立上高田小学校6年生	2	46	5	1	1	
		13:00-14:00	私立橘学院高等部1～3年生(千葉県)	1	24	2	1		
6/26	木	9:00-10:50	松本市立芳川小学校6年生	3	102	4	1	1	
		10:30-12:20							
		12:30-14:00	練馬区立豊玉東小学校6年生	2	45	8	1	1	
6/27	金	9:30-11:00	飯綱町立三水第一小学校6年生	2	54	3	1	1	
		10:00-11:30	山ノ内町立東小学校6年生	1	28	2	1	1	
		12:00-14:00	上田市立塩田西小学校6年生	2	48	2	1	1	
7/1	火	10:00-11:30	練馬区立大泉第六小学校6年生	3	86	10	1	1	
		12:10-13:40	練馬区立中村西小学校6年生	2	63	7	1	1	
7/2	水	13:45-16:00	長野大学2～4年生 地域情報メディア論受講生	1	30	1		1	文献書庫・遺物収蔵庫見学
7/3	木	12:10-13:50	松本市立安曇小学校6年生	1	8	2	1	1	
7/4	金	9:00-10:15	山形村立山形小学校6年生	3	88	5	1	1	
		10:00-10:50	大田区立梅田小学校6年生	4	139	11	1		
		11:00-11:50							
		12:45-13:35	小海町立小海小学校6年生	2	45	3	1	1	
		13:30-15:00	松本市立菅野小学校6年生	3	107	4	1	1	カプセル体験(ガチャ・黒曜石)

7/5	土	10:00-12:00	長野県短期大学現代史ゼミ	1	6	1	1		文献収蔵庫
7/6	日	12:30-13:00	大田区立高畑小学校6年生	3	90	8			
7/8	火	9:20-10:20	小布施町立栗ガ丘小学校6年生	3	85	5	1		
		9:45-11:00 10:45-12:00	練馬区立大泉北小学校6年生	3	100	11	1	1	
		9:55-10:55 10:55-12:25	中野区立神明小学校5、6年生	4	154	10	1		
		13:00-14:30	大田区立東調布第三小学校6年生	2	54	7	1	1	
		13:25-15:10	大町市立大町南小学校6年生	2	72	4	1	1	
7/9	水	9:05-10:30	須坂市立豊洲小学校6年生	2	42	2	1	1	
		11:00-12:00 12:30-13:30	中野区立啓明小学校5、6年生	4	83	10		1	
7/10	木	9:10-10:40	東御市立和小小学校6年生	2	65	3	1	1	
		10:45-12:15	小諸市立坂の上小学校6年生	2	64	3	1	1	
		12:30-14:00	安曇野市立明北小学校6年生	1	19	2	1	1	
7/11	金	9:30-11:30	埼玉大学教育学部附属中学校2年生	1	25	1	1	1	
7/15	火	10:50-12:20	中野区立平和の森小学校6年生	3	92	8	1	1	
7/17	木	10:00-11:30	練馬区立早宮小学校6年生	3	99	12	1	1	
		13:30-15:20	東御市立滋野小学校6年生	2	50	3	1	1	
7/18	金	9:00-12:00	松本市立島内小学校6年生	4	114	4	1	1	
		12:00-13:30	飯山市立東小学校6年生	1	8	2	1	1	
		12:40-14:00	千曲市立戸倉小学校6年生	3	80	3	1		
		13:30-15:00	佐久市立田口小学校6年生	2	46	4	1	1	
7/24	木	9:00-10:10 10:20-11:30	安曇野市立三郷小学校6年生	6	201	9	1		
7/31	木	11:10-12:10	豊島区立椎名町小学校6年生	1	40	5		1	
8/3	日	9:30～	江戸川区立江戸川小学校6年生	1	11	1			
8/10	日	10:30-11:45	駿台学園高等学校	2	64	9			
8/21	木	9:00-10:50	辰野町立辰野西小学校6年生	3	89	5		1	
		14:40-15:40	箕輪町立箕輪南小学校6年生	1	9	2	1		
8/22	金	9:00-12:00	茅野市立金沢小学校6年生	1	27	4	1	1	
		10:30-12:00	木曽町立三岳小学校6年生	1	6	3	1	1	
8/25	月	11:00-12:30	飯山市立木島小学校6年生	1	19	3	1	1	
		13:30-14:30	佐久市立平根小学校6年生	2	44	3			
		13:45-15:20	上田市立丸子北小学校6年生	2	72	3	1	1	
		13:45-15:20	佐久市立野沢小学校6年生	3	100	4	1		
		13:50-14:30	坂城町立村上小学校6年生	1	33	2	1		
		15:00-16:00	大町市立美麻小学校6年生	1	15	2	1		実習生による展示 解説
8/26	火	9:00-9:45	佐久市立白田小学校6年生	2	36	3			
		9:00-10:15	飯山市立飯山小学校6年生	2	58	4			

8/26	火	9:10-10:10	筑北村立本城小学校6年生	1	11	2			3校合同
			筑北村立坂井小学校6年生	1	13	3			
			筑北村立坂北小学校6年生	1	8	1			
		10:00-11:00	上田市立西小学校6年生	3	75	5			
		10:00-11:00	上田市立豊殿小学校6年生	2	48	5			
		10:30-11:30	大田市立八坂小学校6年生	1	14	4			
		10:35-11:35	中野市立倭小学校6年生	1	8	2			2校合同
			中野市立科野小学校6年生	1	16	2			
		11:00-11:50	佐久市立東小学校6年生	2	64	4			
		11:20-12:00	須坂市立旭ヶ丘小学校6年生	2	49	4			
		11:30-12:10	東御市立祢津小学校6年生	2	39	4			
		12:50-13:40	大田市立大町西小学校6年生	2	48	4			
		13:00-14:00	立科町立立科小学校6年生	2	71	4			
		13:30-14:30	東御市立北御牧小学校6年生	2	42	3			
		13:30-14:30	川上村立川上第一小学校6年生	1	28	4			
		13:30-14:30	麻績村立麻績小学校6年生	1	23	4			
		13:30-14:30	白馬村立白馬南小学校6年生	1	22	2			
		13:30-14:30	佐久市立中佐都小学校6年生	2	51	3			
		13:30-14:30	中野市立平野小学校6年生	3	87	4			
		13:50-15:00	山之内町立西小学校6年生	1	15	2			2校合同
			山之内町立北小学校6年生	1	3	2			
		14:00-15:05 14:50-15:55	大田市立大町北小学校6年生	2	71	4			
		14:25-15:10	長和町立長門小学校6年生	1	31	4			
		14:30-15:30	佐久市立中込小学校6年生	2	68	4			
		14:30-15:30	佐久穂町立八千穂小学校6年生	2	45	3			
		15:00-16:00	中野市立豊井小学校6年生	1	27	2			
		16:00～	立正大学	1	9	0	1		
8/27	水	9:15-12:00	千曲市立屋代中学校1年2組	1	29	2	1	1	木簡の解説 屋代遺跡群発掘について
		12:30-14:30	千曲市立屋代中学校1年5組	1	30	2	1		展示室・閲覧室でグループ調査
8/28	木	10:00～	大正大学考古学研究会	1	17	0			
9/3	水	12:30-14:50	大田区立調布大塚小学校6年生	1	34	5	1	1	
9/4	木	9:00-10:30	御代田町立御代田北小学校6年生	2	52	2	1	1	
		10:10-12:00	上田市立西内小学校6年生	1	8	2	1	1	
		14:30-15:30	千曲市立東小アプリコットタイム	1	19	1	1		古銭マグネットづくり 殖生中職場体験生徒参加
9/12	金	13:30-15:30	練馬区立中村小学校6年生	4	148	11			
9/14	日	10:00～	中央大学人文社会学科	1	16	1			
		13:15-14:00	大田区立大森東小学校6年生	1	36	4		1	
		13:40-14:20	大田区立田園調布小学校6年生	3	100	10			

9/18	木	11:00-11:30	長野市立綿内保育園	1	33	3			
9/25	木	12:30-14:30	中野区立新山小学校6年生	1	33	3	1	1	
9/26	金	10:00-11:30	長野市立保科小学校5・6年生	2	50	4	1	1	
		12:30-14:10	長野市立南部小学校6年生	3	100	5	1	1	
9/27	土	10:10-11:40	大田区立西六郷小学校6年生	2	56	6	1	1	
9/28	日	12:00-13:20	大田区立東蒲小学校6年生	1	39	5	1	1	
9/30	火	9:10-10:40 13:30-14:30	長野市立寺尾小学校6年生	1	24	2	1	1	
		12:10-15:20	大田区立山王小学校6年生	3	96	8	1	1	
10/1	水	9:30-11:30 12:00-14:00	塩尻市立塩尻東小学校	3	98	4	1	1	
		10:40-12:10	須坂市立高甫小学校6年生	1	30	3		1	
10/2	木	13:00-14:30	小諸市立水明小学校6年生	2	58	2	1	1	
		14:30-15:30	千曲市立東小アプリコットタイム	1	19	1	1		刀や火縄銃の見学 体験
10/3	金	10:20-11:25 12:20-13:20	長野市立安茂里小学校6年生	2	60	3	1	1	
		13:15-15:20	上田市立南小学校6年生	4	131	5	1	1	
10/5	日	13:00-14:10	大田区立出雲小学校6年生	3	110	7	1	1	
10/7	火	10:00-11:30	中野区立向台小学校5・6年生	2	64	6	1	1	
10/8	水	12:20-14:10	青木村立青木小学校6年生	1	32	3	1	1	
10/9	木	9:00-10:20	山内町立南小学校6年生	1	28	2	1	1	
		9:30-11:30	松本市立今井小学校6年生	1	29	3	1	1	
		12:40-14:10	中野市立長丘小学校5・6年生	2	30	3	1	1	
10/10	金	10:50-12:00	高山村立高山小学校6年生	3	78	3	1	1	
		15:00-16:30	松本市立中山小学校6年生	1	24	3	1	1	
10/11	土	11:00-12:00 14:50-15:50	飯山北高校人文科学探検科2年生 歴史館研修 1日目	3	38	3	1	1	
10/12	日	9:00～	飯山北高校人文科学探検科2年生 歴史館研修 2日目	3	38	3			
10/15	水	9:20-10:30	長野市立青木島保育園年長組	6	70	15			
10/16	木	10:00-11:50	佐久市立望月小学校6年生	2	52	5	1	1	
		10:50-12:20	上田市立浦里小学校6年生	1	17	2	1	1	
		13:30-15:30	大田区立六郷小学校6年生	2	68	7	1	1	
10/23	木	10:15-11:35	松本市立島立小学校6年生	2	50	2	1	1	
		13:50-15:20	高森町立高森南小学校4年生	4	124	7	1		
		14:00-16:00	大田区立糺谷小学校6年生	3	107	9	1	1	
10/24	金	9:30-11:30	稲荷山養護学校1～6年生	1	8	5	1	1	
		10:00-11:30	塩尻市立宗賀小学校6年生	2	45	3	1	1	ガチャガチャ体験
		12:40-14:30	千曲市立八幡小学校6年生	2	42	3	1	1	
		13:50-15:00	長野県屋代高等学校附属中学校2年生	1	40	1	1		

10/26	日	12:30-14:00 13:40-15:10	大田区立大森第四小学校6年生	4	135	11	1	1	
10/28	火	13:30-14:30	佐久市立浅科小学校6年生	2	56	3	1		
		13:45-15:15	安曇野市立穂高南小学校6年生	3	91	5	1	1	
10/31	金	9:00-10:30	信州大学教育学部附属松本小学校6年生	2	71	3	1	1	
		10:00-12:00	上田市立傍陽小学校6年生	1	23	2	1	1	
		10:50-11:20 12:10-13:40	佐久穂町立佐久西小学校6年生	1	19	2	1	1	
11/1	土	13:00-15:00	松商短期大学部	1	14	1	1		文書書庫見学
11/7	金	9:00-10:30	長野県木曽町立日義小学校6年生	1	24	2	1	1	
11/12	水	11:00-12:30	千曲市立東小学校6年生	2	66	3	1	1	解説にボランティア参加
11/13	木	12:15-13:15 13:20-14:50	松本市立鎌田小学校6年生	5	148	7	1	1	
11/14	金	10:30-12:00	軽井沢町立軽井沢西部小学校6年生	2	47	3	1	1	解説にボランティア参加
11/19	水	9:00-10:20	上田市立塩川小学校6年生	1	22	2	1	1	解説にボランティア参加
		10:30-12:00	千曲市立上山田小学校6年生	2	44	2	1	1	
11/20	木	10:45-11:45	松本市立開明小学校6年生	5	151	7	1		
		13:00-15:00	大田区立清水窪小学校6年生	1	24	4	1	1	
11/21	金	10:15-11:45 13:10-14:40	佐久市立野沢南高等学校1学年	6	240	12		1	
		9:00-10:00	須坂市立日野小学校6年生	2	57	4	1		解説にボランティア参加
12/25	木	12:00-13:30	松本市立本郷小学校6年生	2	63	3	1	1	解説にボランティア参加
2/5	木	10:00-11:30	千曲市立東小学校3年生	3	75	4	1		
2/10	火	10:15-11:45	篠ノ井中間教室	1	7	2		1	
3/6	金	10:00~	千曲市立戸倉小学校特別支援学級	2	1	3		1	
		10:40-11:40	中野市立延徳小学校特別支援学級	1	7	2			
3/12	木	10:00-11:00	長野市東北中間教室	1	9	3		1	
3/19	木	9:30-11:00	長野県長野南高校1学年	5	195	10	1		解説にボランティア参加
		15:15-16:00	長野県岩村田高校1学年	5	194	9			

(2) 関係機関視察 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	人数	解説	バックヤード	備考
6/5	木	14:20-15:05	中野区教育委員会	14	1	1	
7/25	金	10:00-10:50	大田区教育委員会事務局	105	1		
7/30	水	11:00-12:00	長野県総合教育センター研修館内見学	16		1	
8/5	火	10:20-12:20	信州大学教員免許状更新講習歴史館案内	47	1	1	
8/6	水	10:20-12:20	信州大学教員免許状更新講習歴史館案内	46	1	1	
8/29	金	10:40-15:00	高校10年研地域研修	17	1	1	
11/9	日	10:20-12:20	信州大学教員免許状更新講習歴史館案内	45	1	1	

(3) 一般団体見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	人数	解説	バックヤード	備考
4/4	金	10:30-11:30	コスモスプラネット篠ノ井	14			
4/8	火	10:30-11:30	JA平野年金友の会	42	1		
4/11	金	12:00-13:15	松南病院デイケア	13		1	
		15:30-16:40	余暇を楽しむ会	23	1	1	
4/14	月		松本ロータリー旅行	42	1		
4/16	水	11:00-12:00	松本ロータリー旅行	16	1		
4/18	金		辰巳会	14			
4/24	木		明治大学OB	46	1		
5/8	木	9:20-10:10	南菅生健友会(川崎)	23			
5/21	水	13:00-14:10	若槻公民館	70	1		
5/27	水	11:00-12:00	長野県温泉協会	15	1		
6/7	土	14:40-15:40	安曇野誕生の系譜を探る会	26	1	1	
6/11	水	10:00-11:00	地域密着型介護老人福祉施設特別養護老人ホーム博仁会川中島桜荘	8	1		
		13:30~	地域活動センターぴあふれんず(長野市栗田)	13			
6/14	土	12:45-16:30	一般社団法人日本気象予報士会	20	1	1	
6/19	木	14:30~	塔ノ原長寿会(安曇野市)	16	1		
6/20	金	12:00-13:00	埼玉県立歴史と民俗博友の会	45	1		
6/22	日	10:00-11:00	「家族の会」長野市部	20	1		
6/24	火	14:10-15:00	JA佐久浅間女性会北御牧支部	25	1		
6/28	土	16:00~	(株)本庄厨房	16			
7/6	月	9:30-10:20	田中公民館	30			
		16:20-17:00	四賀桑原公民館	39			
7/13	月	10:30~	豊町(池田町)	21			
		11:00-12:00	古牧地区人権男女参画部	13			
7/21	月	14:10-15:00	軽井沢町社会福祉協議会	85	1		
8/2	土	9:30-11:00	犀口子ども会	21			
8/19	火	10:15-11:30	社会福祉法人 花工房福祉会	20			
9/12	金	9:30-10:45	須坂市立常盤中同窓会	13	1		
9/17	水	10:50-12:15	大町市人権教育推進協議会 ほか	24			
9/18	木	9:10-10:40	岡谷カルチャーセンターいちい学級	35	1		
9/19	金	11:00-12:00	飯山市人権同和男女共同参画地域推進委員会	20			
10/4	金	10:30-11:00	地域生活支援センターCOCO	8			
		10:50-11:30	団体 まごころ	8			
10/12	日	14:10-14:50	東京古田会	16	1		
10/16	水	14:20~	(株)協栄電気興業	14			

10/17	木	10:00-11:30 12:20-13:50	塩尻ロマン大学第14期生	80	1		
		13:30-15:30	長野県シニア大学佐久学部2学年	125	1	1	
10/18	金	14:00～	縄文阿久友の会	18	1	1	
10/21	金	10:00-12:00	松代文化財ボランティアの会	18	1	1	
		10:30～	鬼無里退職会	13			
		11:30～	甲斐市郷土研究会	27			
		10:00-12:00	長野県シニア大学長野学部①	95	1		
10/22	月	10:00-12:00	長野県シニア大学長野学部②	90	1		
		11:00-12:00	さくらポート八幡	7	1		
		13:30-16:30	真田中央公民館	36	1		
		13:50-15:50	篠ノ井老人福祉センター郷土史同好会	18	1	1	ボランティアによる解説
		14:00-14:40	一二会(高崎市)	18	1		
10/23	木	9:20-10:20	日通長野昭和会	10	1		
		10:00-11:00	芳賀山遊クラブ	45	1		
10/24	金	14:30-15:30	木島平村ふるさと資料館友の会	18	1		
10/26	日	10:00-11:00	田辺中組農事組合	37			
10/28	火	14:00-15:00	長野県カルチャースクール「里山の 鳥 ウォッチングと自然散策」	20	1		
10/29	水	10:00-11:30	須坂市勤労者協議会	13	1		
11/1	土	12:30～	替佐長寿クラブ	9			
11/5	水	10:00-11:30	小島寿会	25		1	
		11:10-12:30	春組クラス会	10			
		14:15-15:00	埼玉県寄居町隣保館連絡協議会(か わせみ荘)	15	1		
		14:30～	針尾長寿会	17			
11/6	木	14:30-15:30	加須市郷土史研究会	31	1		
11/8	土	13:30-14:20	社団法人長野県建築士会	40	1		ボランティアによる解説
		15:30～	団体 三国町	17			
11/15	土	9:30-11:30	安曇野市豊科郷土博物館	45	1	1	
		10:50～	栗林製作所労働組合	20			
11/21	金	9:15-10:15	行田市郷土博物館協議会	5	1	1	考古・文献収蔵庫見学
12/4	木	10:00～	戸隠きぼうの旅	14			
12/7	日	10:00～	十日町考古グループ 博物館友の会	15			
12/9	火	11:30～	笹賀地区人権啓発推進協議会	20			
12/12	金	12:30～	縄文阿久友の会	20			
1/6	火		福祉施設 桃の里	24			
1/11	日	10:45-11:30	小諸市和田公民館	19	1		ボランティアによる解説
1/21	水	13:20-15:00	松代文化財ボランティアの会Aグ ループ	12	1	1	ボランティアによる解説
1/25	日	13:30～	南区委員会	9			
2/18	水	10:10-11:00	特別養護老人ホーム博仁会桜荘	8			

2/28	土	14:30-16:00	埴生公民館杭瀬下分館	15	1		
3/1	日	10:00-11:15	ビオ・ゲミューズの会 (埼玉)	13			
3/3	火	10:00～	シニア大学長野支部 (有志)	20	1		
		14:00～	グループホームサンタクロース	16			
3/15	日	9:30-10:30	藤岡土器友の会	15	1	1	ボランティアによる解説
3/24	火	10:45-12:00	池田町芸術文化協会	9	1		
			社会福祉法人廣望会	7			
		14:00～	ほっとらいふステーション	25			

2 企画展関連講演会等

月 日	テーマ	講 師	参加者数
6 月 14 日	館蔵品展講演会 「日本美術のオリジナリティ」	跡見学園女子大学文学部 教授 矢島 新 氏	30
7 月 5 日	館蔵品展講座 「歴史館所蔵の美術工芸品案内」	長野県信濃美術館 学芸係長 伊藤 羊子 氏	32
7 月 26 日	夏季展講演会 「飯綱信仰について」	いづな歴史ふれあい館 主幹・学芸員 小山 丈夫氏	84
8 月 20 日	夏季展講座 「近代化の開発拠点」	飯田市上郷考古博物館長 市澤 英利 氏	55
9 月 27 日	秋季企画展講座 「信長・秀吉・家康と信濃武士」	当館学芸部長 市川 正夫 当館総合情報課長 福島 正樹 当館文献史料課専門主事 遠藤 公洋	139
10 月 5 日	秋季企画展ギャラリートーク①		25
10 月 19 日	秋季企画展ギャラリートーク②		25
10 月 25 日	秋季企画展講演会 「織豊時代の終焉と天下統一」	国立歴史民俗博物館名誉 教授・総合研究大学院大学 名誉教授 井原 今朝男 氏	177
10 月 26 日	秋季企画展イベント 「屋代城に登ろう」		11
11 月 29 日	冬季展講座 「デコボコかざりのはじまり」	当館考古資料課専門主事 兼学芸員 寺内 隆夫	62

12 月 20 日	冬季展イベント 「縄文風クリスマスリース・ゾートロープを作ろう」		17
1 月 10 日	冬季展イベント 「からだで表現！デコボコかざり撮影会」		41
2 月 1 日	冬季展イベント 「縄文土器写生・ぬり絵コンクール表彰式」		94

3 講座

(1) やさしい信濃の歴史講座 『「善光寺道名所図会」と街道の風景』

月 日	テーマ	講 師	参加者数
12月6日	道が結ぶ夢 ～『善光寺道名所図会』の魅力～	青木 隆幸	168
	江戸時代の名所絵～『善光寺道名所図会』から～	岸田 恵理	
12月13日	街道の分岐点に栄えた洗馬宿と塩尻の今昔	畔上 不二男	130
	旅人・文化人・登山客の憩いの場 ～浅間温泉～	金澤 大典	
1月17日	峠を越えて、いよいよ善光寺平へ～筑北・姨捨～	中野 亮一	173
	養老坂を越え、仁科街道を安曇・大町へ	市川 厚	
1月31日	七久里の湯に開いた文化 ～別所温泉～	徳嵩 隆治	183
	上田紬を育んだ上田城下から海野・田中の合宿へ	白沢 勝彦	
2月7日	街道屈指の難所 横吹坂を越え坂木宿へ	宮本 博	221
	「飯縄」「戸隠」を訪れた人々と、描かれた霊場	遠藤 公洋	
2月14日	北陸と善光寺をむすぶ道 ～北国街道の往来～	傳田 伊史	212
	聖徳太子信仰のひろがりと善光寺	織田 顕行 氏 (飯田市美術博物館学芸員)	

(2) 考古学講座 『石積みの文化をさかのぼる』

月 日	テーマ	講 師	参加者数
5月10日	長野県における城石垣の変遷	白沢 勝彦	141
6月28日	シナノの積石塚古墳	西山 克己	70
9月20日	縄文時代における石積みの文化	寺内 隆夫	72
10月18日	甲府城（舞鶴城）跡と山梨県立考古博物館を訪ねる	寺内 隆夫 他	32

(3) 出前講座 in 尖石

12月6日 「にているようで にていない まねできそうで まねできない

～縄文時代中期中葉 蓼科山の向こうの土器～

寺内 隆夫 35名

(4) 古文書講座

①初級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A : 6月1日(日) B : 6月19日(木)	古文書にふれ、古文書に馴れましょう!	徳嵩 隆治	28 70 42
A : 7月6日(日) B : 7月17日(木)	くずし字に馴れましょう!	徳嵩 隆治	29 72 43
A : 8月3日(日) B : 8月21日(木)	かな文字に馴れましょう 県歌「信濃国」のなりたち	徳嵩 隆治	19 67 43
A : 9月7日(日) B : 9月18日(木)	山国にも「津波」がある ~今だから語る 私はこうして「戌の満水」の謎を解明した~	青木 隆幸	24 69 45
A : 10月5日(日) B : 10月16日(木)	なぜ、こんな史料がここに… ~今だから語る 私はこうして「新聞略記」 の謎を解明した~	青木 隆幸	27 68 41

②中級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A : 6月7日(土) B : 6月19日(木)	「解説」か「読解」か? ~まずは準備体操~	遠藤 公洋	42 90 48
A : 7月5日(土) B : 7月17日(木)	史料の「カタチ」から歴史を読む	遠藤 公洋	40 85 45
A : 8月2日(土) B : 8月21日(木)	「献立」から見えてくるもの	遠藤 公洋	36 80 44
A : 9月6日(土) B : 9月18日(木)	霊場の集落「小菅」の謎を解く ~史料批判編~	遠藤 公洋	38 79 41
A : 10月4日(土) B : 10月16日(木)	霊場の集落「小菅」の謎を解く ~村の成立編~	遠藤 公洋	42 84 42

③上級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
5月24日(土)	日記を読む	尾崎 行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	22
6月28日(土)	日記を読む	尾崎 行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	25
7月26日(土)	日記を読む	尾崎 行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	23
8月23日(土)	真田家文書を読む ~松代藩の正月行事~	古川 貞雄 氏 (元長野県史主任編さん委員)	22
9月27日(土)	真田家文書を読む ~松代藩の正月行事~	古川 貞雄 氏 (元長野県史主任編さん委員)	19

4 歴史館セミナー

- (1) 平成 25 年度歴史館研究報告
研究紀要第 20 号発表を解説。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
6 月 21 日 13:30～16:00	絹本著色一光三尊像	福島 正樹	56
	明治三陸地震津波の新聞報道と絵画	林 誠	
	立体的な土器装飾への道	寺内 隆夫	
	小谷村の地理・歴史と暮らし	市川 正夫	

- (2) 再発見！わたしたちのふるさと・足もとから見直す歴史と文化

歴史館の立地している更埴および長野地域の歴史を、地元の学芸員の方の協力を得て考える機会とする。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
3 月 7 日 13:30～16:00	北信越の近代化	傳田 伊史	137
	近世の北国街道	降幡 浩樹 氏 (真田宝物館)	

5 長野県カルチャーセンター連携講座

長野カルチャーセンターとの連携講座。信州の歴史を様々な角度から多面的テーマで分析し、説き起こします。今年は史跡や建造物から信濃の歴史を考えます。

日 時	場 所	テーマ	講 師	参加者数
4 月 16 日 (木) 10:30～12:30	長野県カルチャーセンター	史跡・建造物から学ぶ信濃の歴史 ①善光寺	福島 正樹	19
5 月 21 日 (木) 10:30～12:30	長野県カルチャーセンター	史跡・建造物から学ぶ信濃の歴史 ②諏訪大社	傳田 伊史	25

6月18日(木) 10:30~12:30	長野県カルチャー センター	史跡・建造物から学ぶ信濃の 歴史 ③シナノの古墳	上田 典男	15
7月16日(木) 10:30~12:30	長野県カルチャー センター	史跡・建造物から学ぶ信濃の 歴史 ④山のお寺	原 明芳	15
8月20日(木) 10:30~12:30	長野県立歴史館	史跡・建造物から学ぶ信濃の 歴史 ⑤長野県の近代化遺産	市川 正夫	20
9月17日(木) 10:30~12:30	長野県カルチャー センター	史跡・建造物から学ぶ信濃の 歴史 ⑥信濃の縄文遺跡	寺内 隆夫	22

6 八十二文化財団連携講座（大人の遠足）

公益財団法人八十二文化財団との共催講座。「知る・見る・歩く」をコンセプトに講義と現地見学の2部構成で実施。

(1) 講義 ①

日 時	場 所	テーマ	講 師	参加者数
9月25日(木) 14:00~16:00	松本市中心公民館 (Mウィング)	大鹿村の自然と暮らし	市川 正夫	66

(2) 講義 ②

日 時	場 所	テーマ	講 師	参加者数
10月2日(木) 14:00~16:00	松本市中心公民館 (Mウィング)	大河原・鹿塩の歴史と文化ー 中央構造線沿いに広がる文 化をたずねるー	福島 正樹	49

(3) 現地見学 ～大人の遠足～南朝の拠点、大鹿村（大河原・鹿塩）をたずねて
 日 時：平成26年10月9日（木）7:30~18:00
 見学場所：大鹿村（福德寺、湯元山塩館、塩の里直売所、中央構造線博物館、
 大鹿村郷土博物館）

講 師：長野県立歴史館職員

参 加 者：24名

7 飯田市美術博物館連携講座

県内博物館と連携し、各博物館の職員と協働した連携講座。今年は、飯田市美術博物館と連携して実施した。

日 時	場 所	テーマ	講 師	参加者数
2月28日 13:30～ 15:30	飯田市美術 博物館講堂	「飯縄」「戸隠」を訪れた人びと と、描かれた道場	遠藤 公洋	15
		聖徳太子信仰のひろがりと善光寺	織田 顕行 氏 (飯田市美術博 物館学芸員)	
3月8日 13:30～ 15:30	飯田市美術 博物館講堂	道が結ぶ夢－伊勢、名古屋、 そして信濃－	青木 隆幸	
		古東山道と飯田の古墳・恒川官衙 遺跡群	下平 博行 氏 (飯田市教育委 員会文化財活用 係長)	

8 考古学セミナー 長野県考古学会との共催による。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
5月24日 13:00～ 15:30	記念講演 森將軍塚古墳の保存と整備	矢島 宏雄 氏 (千曲市教育委員会)	71

9 近世史セミナー

信濃史学会、信州近世史セミナーとの共催として実施。「近世史料と文書調査」をテーマにして、史料調査の実態や課題について発表。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
1月24日 10:40～ 15:40	研究発表1 「坂城町の文書館に向けて」	大橋 昌人 氏 (信濃史学会員、信州 近世史セミナー代表)	6 6
	研究発表2 「伊那市西箕輪羽広誌編纂と文書整理」	山口 通之 氏 (信濃史学会員)	
	講演会 「歴史としてみる史料調査 ー『記録史料学と歴史研究のはざま』 で再考するー」	神谷 智 氏 (愛知大学教授)	

10 平成26年度文化芸術振興費補助金（地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動深淵事業）による事業

- (1) 事業の名称：地域と共働した信濃史料・善光寺関係史料データベース等構築・公開事業
- (2) 補助事業者：「地域と共働した信濃史料・善光寺関係史料データベース等構築・公開事業」実行委員会
- (3) 補助金交付者：文化庁長官
- (4) 構成団体：長野県立歴史館（事務局）、NPO 長野県図書館等協働機構、県立長野図書館、長野市立博物館、信濃毎日新聞社、信濃史学会、長野郷土史研究会、（公財）八十二文化財団

(5) 事業内容

①「信濃史料」データベース化・善光寺史料のフルテキスト化並びにコンテンツ作成・公開事業

②「信濃史料」、善光寺関係史料等をテーマとした講座・講演会の開催

日時、場所	テーマ	講師	参加者
11月6日(木) ホクト文化ホール	あの世とこの世ー善光寺信仰を考える	民俗・日本思想史家 田中 欣一 氏	178
	六十余州を結ぶ「善光寺参り絵解図」	絵解口演家 小林 玲子 氏	
	善光寺信仰の広がりー江戸の出開帳を語るー	江戸東京博物館館長 竹内 誠 氏	
11月22日(土) 当館講堂	「信州地域史料アーカイブ」の紹介と活用	長野県図書館等協働機構理事長 宮下 明彦 氏	28
	『地震後世俗語之種』に描かれた善光寺御開帳	長野郷土史研究会会長 小林 一郎 氏	
2月21日(土) 当館講堂	信濃史料のデジタル化と長野県の歴史研究	当館総合情報課長 福島 正樹	88
	原本史料の読み直しと信濃史料	東京大学史料編纂所教授 田島 公 氏	
	記念講演「真田三代とNHK 大河ドラマー地域史料の記録方法と活用について」	松平 定知 氏	

1 1 講 習 会

(1) 考古資料保存処理講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
11 月 14 日 12 月 5 日	鉄製品の保存処理と保管	講義・実習・質疑応答 白沢 勝彦	11/14: 15 12/ 5: 14

(2) 文献史料保存活用講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
11 月 20 日	実践報告 講演 地域歴史資料保全の現状と課題	村松 武 氏 (飯田市美術博物館 学芸員) 降幡 浩樹 氏 (真田宝物館 係長(学芸員)) 西村 慎太郎 氏 (人間文化研究機構 国文学研究史料館 准教授)	35

12 各種講習会・イベント

(1) イベント

日時	テーマ	内 容	参加者数
5月5日	歴史館でこどもの日	石のアクセサリー作り	98
		縄文人になって遊ぼう	242
6月14日	気象予報士研修		20
8月5日	信州大学教員免許状更新講習		95
8月6日			
8月8日	歴史館で夏休み	石のアクセサリー作り・古銭づくり	480
8月9日			
8月10日			
8月8日	夏休み考古学チャレンジ教室	縄文人になって遊ぼう	300
8月9日			
8月21日	バックヤード見学、勾玉づくり		308
8月22日			
8月25日			
8月27日			
11月3日	将軍塚まつり	青空教室	30
		勾玉作り	216
		縄文人になって遊ぼう	674
11月6日	文化庁助成事業	「善光寺信仰の裾野を歩く」	178
11月13日	長野県文化財保護研修会		90

日時	テーマ	内 容	参加者数
11月22日	文化庁助成事業	「地域連携講座①」	28
1月29日	市町村埋蔵文化財担当者発掘調査技術研修会	「地域連携講座②」	71
2月21日	文化庁助成事業		88
3月21日	親子映画会①	「まんが日本昔ばなし」「世界の童話」の上映	315
3月22日	親子映画会②	「まんが日本昔ばなし」「世界の童話」の上映	303
3月24日	親子映画会③	「まんが日本昔ばなし」「世界の童話」の上映	470
3月25日	親子映画会④	「まんが日本昔ばなし」「世界の童話」の上映	407

(2) 体験学習 (当館外・派遣分)

No.	月 日	団 体 名	人 数	体 験 内 容
1	9月13日	長野市立山王小学校6学年・保護者	84	土器づくり
2	10月2日	長野市立川中島小学校児童	25	勾玉づくり
2014年度 合計			109 名	

13 展示解説

事前に解説を申し込んだ団体を対象に展示解説を実施（解説実施 272 団体）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学校数	17	81	31	26	11	11	30	10	1	0	1	1
一般団体数	5	2	8	2	4	2	16	6	0	3	1	3
小計	22	83	39	28	15	13	46	16	1	3	2	4

14 学校との連携

(1) 千曲市立東小学校との連携

- ・総合的な学習の時間「アプリコットタイム」の講座「歴史探検」
年間 7 回を学校と共に計画を立て、勾玉作り、銭作り、火起こし体験学習等の講師を務めた。

(2) 蓼科高校 出前講座（7 月 23 日）

- ・「蓼科学」講座として中山道・芦田宿の歴史や当館常設展示資料を紹介した。

(3) 長野県総合教育センターへの研修協力（7 月 30 日）

- ・研修講座「歴史学習の教材研究～長野県立歴史館の資料を活用して～」
講義「地域素材の教材化と県立歴史館」の講師を務めた。

(4) 屋代高校 歴史授業への参加（6 月 10 日、6 月 11 日）考古資料課

(5) 屋代中学校総合的な学習の時間（8 月 27 日）

- ・1 年 5 組「屋代地区の戦争」「千曲川の歴史」それぞれの講義
- ・1 年 2 組「奈良時代の屋代地区―屋代木簡を通して―」講義と収蔵庫見学

(6) 長野俊英高校職員研修会（8 月 22 日）

- ・県立歴史館が会場となり、バックヤード見学と勾玉づくりの講師を務めた。

(7) 高校 10 年研修への協力（8 月 29 日）

- ・高校 10 年者研修で講義、勾玉づくり実習、森將軍塚古墳臨地研修の講師を務めた。

- (8) 長野市立山王小学校 親子土器作りへの講師派遣 (9月13日)
・6年生の参観日に親子土器づくり体験学習の講師を務めた。
- (9) 飯山北高等学校探求科の歴史館研修 (10月11日・12日)
・県立歴史館が会場となり、テーマ別ゼミ形式演習を実施し講師を務めた。
- (10) 長野市立川中島小学校への講師派遣 (10月2日)
・体験交流講座で、まが玉づくりの講師を務めた。
- (11) 長野南高校 出前講座 (3月18日)
・平和学習の講座で、松代象山地下壕など地元の戦争について授業を行った。
- (12) 校長会、教頭研修会に参加し、歴史館の学校連携の取り組みや見学プランを紹介

期 日	団体名	会 場	人数
H26 5/7	諏訪小中学校校長会	諏訪教育会館	49名
5/8	上伊那小中学校校長会	上伊那教育会館	52名
6/17	下伊那小中学校校長会	下伊那教育会館	67名
9/5	東筑摩塩尻小中学校教頭会	東筑摩塩尻教育会館	29名
9/11	松本市小中学校教頭会	松本市教育館	66名
9/16	木曾小中学校教頭会	木曾教育会館	23名
10/3	諏訪小中学校教頭会	諏訪教育会館	52名
10/16	上伊那小中学校教頭会	上伊那教育会館	59名
11/14~15	信州社会科研究会北安曇大会	大町市立仁科台中学校	約300名
H27 1/9	長野・上水内校長会	更級教育会館	約100名

15 博物館実習

- ・実習期間 8月19日(火)～8月29日(金) 8月24日(日)を除く10日間
- ・実習生 西澤 梨花(駒澤大学)、篠塚 有里(大正大学)、天野 早苗(茨城大学)、平田 裕也(日本大学)、高橋 千穂(奈良大学)、
以上5名
- ・内 容 博物館学概論、資料調査概論、資料調査実習、閲覧業務の実習、展示

解説の見学、展示解説の実習、広報に関する業務（科野の里歴史公園マップ作成）、考古資料の保護と活用、考古資料の取扱いについて、遺物整理実習（土器・石器、木製品、金属製品）、勾玉づくり実習・高校10年者への指導、行政文書の整理実習、行政文書の整理実習、古文書の整理実習

16 職場体験学習

職場・就業体験学習、初任者（異業種体験）研修（7校、13日間、21名）

7月8日（火）～9日（水） 2日間
長野市立篠ノ井西中学校2年生 5名

8月8日（金）～9日（土） 2日間
千曲市立八幡小学校初任者研修（異業種体験研修）1名

9月3日（水）～5日（金） 3日間
千曲市立埴生中学校2年生 4名

9月25日（木） 1日間
長野県屋代高等学校附属中学校2年生 1名

10月8日（水）～9日（木） 2日間
長野市立広徳中学校2年生 4名

10月23日（木）～24日（金） 2日間
長野市立篠ノ井東中学校2年生 5名

10月28日（火） 1日間
小川村立小川中学校2年生 1名

17 サークル育成活動

○ 古文書愛好会

(1) 館蔵文書を読む会

- ① 実施日 10月2日(木)～12月4日(木) まで毎月第一木曜日に実施
- ② 実施に至るまで
4月下旬：愛好会役員と協議
5月中旬：今年度整理文書の選定および愛好会役員との協議
5月下旬：参加希望会員へ通知発送／テキスト編冊
- ③ 対象史料
「矢代宿本陣柿崎家文書」のうちから加賀藩の溶姫の通行に関わる文書類
成果物は当館にも寄贈され、閲覧室で公開されている
- ④ 参加者 延べ120名(平均各回40名)
10/2 41名、11/6 41名、12/4 38名

(2) 古文書探訪会

- ① 日 時 平成25年10月11日(土)
- ② 見学場所 津金寺(立科町)、笠取峠のマツ並木(立科町)、尖石縄文考古館(茅野市)、
神長官守矢氏史料館(茅野市)
- ③ 参加者 会員40名 事務局(文献史料課員)2名 計40名
- ④ 参加費 5,000円

(3) 古文書演習

- ① 実施日 1月23日(金)～3月1日(日) まで毎週金・土・日に実施
- ② 実施に至るまで
11月下旬：今年度整理文書の選定
11月下旬：愛好会担当幹事と協議
12月中旬：会員へ通知発送
1月中旬：愛好会役員会で班分け等実施準備
- ③ 仮目録採りの対象史料
「安曇郡犬飼家文書」(仮称)
- ④ グループ学習会
古文書演習中の適当な半日(2時間程度)を使い、各グループ1～2回ずつ、
自分たちが整理した文書の中から適当なものを選んで学習した。
- ⑤ 参加者 延べ452名(平均各回26.4名) 1/23 28名、1/24 29名、1/25 20名、1/30 26名、
1/31 27名(計130名)、2/1～2/28 297名、3/1 25名

(4) 総会

① 日 時 3月1日(日) 午後1時～1時30分

② 議 題

- ・平成26年度古文書愛好会事業報告
- ・平成26年度古文書愛好会会計現計報告
- ・平成26年度古文書愛好会会計監査報告
- ・平成27年度古文書愛好会事業計画案について
- ・平成27年度古文書愛好会予算案について

③ 参加者 会員35名 事務局2名 計37名

(5) 研修会

① 日 時 3月1日(日) 午後1時30分～3時

② 講 演

「北信越の近代化と結びつき」 長野県立歴史館総合情報課 傳田伊史

③ 参加者 会員35名 事務局2名 計37名

18 ボランティア活動

I 歴史館ボランティア総会

平成26年4月6日(日) 実施(11名参加)

II 体験ボランティア活動

(1) 歴史館で子どもの日

5月5日(月) 石のアクセサリー作り、縄文人体験

体験ボランティア15名参加

(2) 千曲市立東小学校 アプリコットタイム勾玉づくり

6月5日(木)

体験ボランティア2名参加

(3) 「歴史館で夏休み」

8月8日(金) 9日(土) 10日(日)

ただし10日は天候不良のためボランティア要請は中止となった。

石のアクセサリー・銭づくり及び縄文人体験

体験ボランティア11名参加

(4) 長野市立川中島小学校(出前講座)

10月2日(木) 交流体験講座勾玉づくり

体験ボランティア2名参加

(5) 森將軍塚まつり

11月3日(月)

勾玉づくり及び縄文人体験

体験ボランティア16名参加

- (6) 縄文土器展クリスマスリース作り
体験ボランティア 8 名参加
- (7) 木製品の保存処理（年間を通して）
作業ボランティア のべ 28 日 55 人

Ⅲ 展示解説ボランティア活動

本年度、解説ボランティアの充実と実質的な運用を図るため、歴史館ホームページ、文化財生涯学習課ホームページ、千曲市回覧、館内チラシ等を使って展示解説ボランティアを募集し、ガイド養成研修講座を計 6 回実施した。解説ボランティア登録者は 23 名。

11 月以降の予約団体の展示解説や、12 月以降の第 2、第 4 日曜日、3 月以降は毎週日曜日に常設展の展示解説を午前 2 回（10 時・11 時）、午後 2 回（13 時・14 時）の計 36 回実施し、来館者に対して展示解説を行った。

19 博物館関係職員等研修会

○長野県教育委員会、長野県博物館協議会共催

(1) 日時

平成 27 年 2 月 17 日（火）・18 日（水）

(2) 参加対象者

公立・私立博物館等（博物館、美術館、歴史民俗資料館及び考古資料館等）職員
市町村教育委員会職員
教育事務所職員
県文化振興事業団職員（埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等）
その他受講希望者

(3) 参加人数

2 月 17 日（火）：48 名、 18 日（水）：66 名

(4) 内容

2 月 17 日（火）

① 講演 「観光（まちづくり）と美術館・博物館」

講師：松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授 山根 宏文 氏

② 事例報告 「観光と美術館・博物館」

講師：上田市立美術館 館長 滝澤 正幸 氏

下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館 館長 宮坂 徹 氏

「長野県観光の現況」

講師：長野県観光部山岳高原観光課 担当係長 櫻井 貴子 氏

2 月 18 日（水）

③ 課題研修 「今求められる新しい博物館-三重県総合博物館のとりくみ」

講師：三重県総合博物館 館長 布谷 知夫 氏

④ 実務研修 「博物館資料の取り扱いについて」

講師：県立歴史館 主幹・学芸員 林 誠

日本通運長野支店 職員

20 職員派遣（出前講座）

月 日	派 遣 先	内 容	参加者 数	職 員
4月25日	善光寺街道協議会	道が結ぶ夢	78	青木 隆幸
4月30日	更埴教育研究会	戌の満水	50	青木 隆幸
5月24日	永昌寺「寺来や塾」	千曲川の流れと戌の満水	68	青木 隆幸
6月28日	稲荷山公民館	「景勝の町」を超えて稲荷山くらしと心を育む	43	青木 隆幸
7月10日	市立長野高校「ながのろじー」	古代の信濃の国	30	傳田 伊史
8月4日	更埴地歴民俗研究会	山ノ内町・中野市の巡検案内	16	畔上 不二男
8月23日	千曲市永昌寺	姨捨とは何か、なぜ姨捨なのか	68	遠藤 公洋
8月24日	佐久市教育委員会	川村吾蔵の生涯と作品	40	林 誠
9月4日	千曲川会	山国にも津波がある	55	青木 隆幸
9月6日	長野西高校「梶の葉セミナー」	渡邊敏先生と長野高等女学校	40	市川 正夫
9月9日	蓼科高校	マツ並木と献立にみる芦田宿	55	遠藤 公洋
9月9日	北部高校	満洲は豊かだったのか	110	青木 隆幸
9月13日	長野西高校「梶の葉セミナー」	信濃と北陸を結ぶ道	26	傳田 伊史
9月13日	長野市山王小学校	親子土器作り	84	中野 亮一
9月13日	丸山晚霞記念館	丸山晚霞と渡米画家について	50	林 誠
9月20日	長野西高校「梶の葉セミナー」	高校の下に眠る遺跡	33	中野 亮一
9月24日	湯一ぱれあ「歴史講座」	弥生時代にシナノにも青銅器が	20	上田 典男
9月28日	長野西高校「梶の葉セミナー」	昭和戦前の観光と信州	19	金澤 大典
10月1日	長野県立短期大学	長野県の産業と生活・文化	50	市川 正夫
10月2日	長野市川中島小学校	勾玉づくり体験	25	宮本 博
10月8日	長野県立短期大学	縄文人と対話をしよう	50	寺内 隆夫
10月15日	長野県立短期大学	仁和の洪水	50	原 明芳
10月19日	安曇野市豊科郷土博物館	屋代遺跡出土木簡からみえてきた信濃の古代	91	傳田 伊史
10月22日	長野県立短期大学	信濃の国の成立	50	傳田 伊史
10月31日	喬木村福祉センター	特攻隊員上原良司が残したもの	43	青木 隆幸
11月2日	筑北村教育委員会	東畑遺跡と縄文人のくらし	28	寺内 隆夫
11月12日	湯一ぱれあ「歴史講座」	長野県の峠とくらし	28	市川 正夫
11月16日	安曇野市豊科公民館	はざまにおかれた城と人々	57	遠藤 公洋
11月16日	千曲市倉科公民館	倉科將軍塚古墳がつくられたころ	60	上田 典男
11月20日	市立長野高校「ながのろじー」	観光と昭和戦前の信州	22	金澤 大典
11月23日	塩尻市平出博物館	立体的な土器な装飾への道	30	寺内 隆夫
11月24日	佐久市教育委員会	律令社会の崩壊から平賀源氏の登場	170	原 明芳
12月10日	湯一ぱれあ「歴史講座」	戌の満水	25	青木 隆幸

12月12日	東信史学会	月と山と宝幢	31	青木 隆幸
1月18日	飯綱町公民館	満洲移民	51	青木 隆幸
2月12日	かがやき広場湯福	善光寺のふしぎ	29	市川 正夫
2月18日	上田・東御・小県地域史連絡会	地域の史料をどのように保存するか	68	青木 隆幸
2月21日	喬木村公民館	満洲のなかの喬木村	48	青木 隆幸
3月2日	松本市芳川公民館	地域の歩みと文化財の「物語」	32	遠藤 公洋
3月8日	信濃町郷土史研究会	野尻城と信濃の「戦国時代」の終わり	38	遠藤 公洋
3月13日	桜堂公民館	桜堂今昔	34	青木 隆幸
3月21日	しげの里づくり会	山国にも津波があった	75	青木 隆幸
3月22日	飯山市ふるさと館友の会	カタチから読み解く「小菅の里」～なぜ重要文化的景観に選ばれたか？	37	遠藤 公洋

IV 共催事業

月 日	共催事業	共催団体	参加者数
(3月21日) 4月1日～ 6月1日 7月19日～8月24 日(伊那会場)	「長野県の遺跡発掘2014」	長野県埋蔵文化財センター	26年度分： 12,680、 伊那会場： 1,602 計：14,282
4月16日	長野県カルチャーセンター連携講座①	長野県カルチャーセンター	19
4月19日	長野県の遺跡発掘2014遺跡報告会	長野県埋蔵文化財センター	62
4月27日	長野県の遺跡発掘2014埋文体験デー	長野県埋蔵文化財センター	140
5月21日	長野県カルチャーセンター連携講座②	長野県カルチャーセンター	25
5月24日	考古学セミナー	長野県考古学会	71
6月18日	長野県カルチャーセンター連携講座③	長野県カルチャーセンター	15
7月16日	長野県カルチャーセンター連携講座④	長野県カルチャーセンター	15
7月26日	長野県の遺跡発掘2014講演会(伊那)	長野県埋蔵文化財センター	59
8月20日	長野県カルチャーセンター連携講座⑤	長野県カルチャーセンター	40
8月23日	伊那文こどもまつり	長野県埋蔵文化財センター	481
9月17日	長野県カルチャーセンター連携講座⑥	長野県カルチャーセンター	22
9月25日	八十二文化財団連携講座 (大人の遠足) 事前学習会	八十二文化財団	66
10月2日	八十二文化財団連携講座 (大人の遠足) 事前学習会	八十二文化財団	49
10月9日	八十二文化財団連携講座 (大人の遠足)	八十二文化財団	24
1月24日	近世史セミナー	信濃史学会、近世史セミナー	66
2月28日	県内博物館連携講座(飯田市美術博物館)	飯田市教育委員会	20
3月8日	県内博物館連携講座(飯田市美術博物館)	飯田市教育委員会	35
10/2, 11/6, 1 2/4	古文書愛好会・探訪会・研修会	館蔵文書を読む会	120
10/11		古文書探訪会	40
1/23, 1/24, 1/30 , 1/31, 2/1～ 2/28, 3/1		古文書演習	452

V 出版

1 長野県立歴史館たより

- (1) 夏号 vol. 79 表紙「長野県宝 動物装飾付釣手土器」(当館蔵) 平成 26 年 5 月 20 日発行 A4 版、8 頁(オールカラー)

主な内容：館蔵品展「歴史に煌めく日本の美-信濃を彩る名品たち-」、館蔵の一品「経塚から出土した灰釉四耳壺」、夏季展(「山とともに生きる～「信州山の日」制定を記念して」、「山地の民は哲学的芸術的宗教的である-島木赤彦」、おもしろ歴史豆知識「信州人のこころのふるさと「信濃の国」のなりたち」、「歴史館をもっと身近に」

- (2) 秋号 vol. 80 表紙「原村比丘尼原遺跡 人面装飾付土器」

平成 26 年 10 月 30 日発行 A4 版、8 頁(オールカラー)

主な内容：冬季展「縄文土器展」デコボコかざりのはじまり、新収蔵品から-《筑摩県博覧会》、夏季展から-「山とともに生きる」を振り返って、夏季展から-校歌アンケートの結果、歴史館をさらに身近に-土器づくりの出前講座・古文書講座、行事アルバム-大人の遠足ほか、11～2 月の行事予定

- (3) 冬号 vol. 81 表紙「原村比丘尼原遺跡 人面装飾付土器」

平成 26 年 10 月 30 日発行 A4 版、8 頁(オールカラー)

主な内容：冬季展「縄文土器展」デコボコかざりのはじまり、新収蔵品から-《筑摩県博覧会》、夏季展から-「山とともに生きる」を振り返って、夏季展から-校歌アンケートの結果、歴史館をさらに身近に-土器づくりの出前講座・古文書講座、行事アルバム-大人の遠足ほか、11～2 月の行事予定

- (4) 春号 vol. 82 表紙「北陸道巡幸図」部分(当館蔵)

平成 27 年 1 月 28 日発行 A4 版、8 頁(オールカラー)

主な内容：開館 20 周年を迎え新たな第一歩へ、縄文土器展から「縄文風クリスマスリース、ゾートロープ作り」、春季企画展「山と海の廻廊をゆく」紹介、考古資料をよむ「緑釉陶器って、何?」、文献史料をよむ「記録を残し、いかす文化」

2 ブックレット

信濃の風土と歴史 21『大地に刻まれた信濃の歴史 増補改訂版』平成 27 年 3 月 31 日発行 B5 判、80 頁(オールカラー)、1,000 円で頒布

<内容>

はじめに

東信地域：黒曜石原産地の遺跡 岩陰に暮らした縄文人 日本唯一の八角形の塔 天平の薨の夢 信玄を悩ませ真田に謀られた山城 もうひとつの地上の星 日本最長の

牧師の思いが凝縮

中信地域：わが国最古の神明造り 日本最古の天守建築 県内最古の民家 江戸時代の宿場にタイムスリップ 目今、日本大一等の小学校 布告の礎は山河の制御から稼働中の発電所が初めて重要文化財に

南信地域：落葉広葉樹の森に住む縄文人の生活を体感 前方後円墳が集中し、多くの馬具類が出土 古代伊那郡の役所 戦国の面影をのこす天然の要害 信濃を代表する一宮 近代岡谷の産業遺産 歌舞伎の舞台と学校が一つに

北信地域：ナウマン象と旧石器時代の人々 日本を代表する古墳群 平安時代の大集落 一生に一度は参る 人々の営みがつくった景観と文化 大正期の洋風庁舎 現存する県内最古の浄水場

コラム

対象文化財アクセス案内

主要参考文献

あとがき、利用案内

3 研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第21号 平成26年3月31日発行 A4判、78頁、1,000円で頒布

<内容>

資料紹介

林誠 《筑摩県博覧会》

研究報告

青木隆幸「大正中後期 長野県財政の基本構造—満洲移民史研究の前哨として—」

林誠「丸山晚霞の初期素描について—「日本アルプス写生旅行」のスケッチを中心に—」

研究ノート

岸田恵理「『善光寺道名所図会』、挿絵の遠近法」

資料紹介

金澤大典「長野県立歴史館所蔵「観光資料」の紹介」

研究活動

4 その他

平成26年度催し物案内（前期）（後期）

A4変形判（21.0×52.2 cm）、三つ折カラー

VI 閲覧・情報提供

1 図書等資料

(1) 図書資料数

(単位：冊)

区 分	図書	逐次刊行物	図録	小冊子	遺跡報告書	小計
自館制作	0	3	3	4	0	10
購 入	83	274	0	0	0	357
寄 贈	500	839	337	1,138	1,002	3,816
平成26年度計	583	1,116	340	1,142	1,002	4,183
累 計	28,159	30,669	5,337	9,887	22,391	96,443

(2) 文庫等図書資料数 (単位：冊)

長野県史刊行会	3,080
米山・関川・塚田・ 宝月文庫	14,528
長野県考古学会	5,685
累 計	23,293

(3) 公開用雑誌製本

雑誌製本 20件

(4) 映像資料

購入DVD 0本、寄贈DVD 0本

寄贈CD-ROM 0本

2 情報提供

(1) レファレンス

103件

(2) ホームページアクセス数

65,131件

Ⅶ 調査研究

1 調査研究の体制と内容

(1) 趣 旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

(2) 体 制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代・中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

(3) 内 容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会を行う。

研究題目と発表者

第1回（6月20日）

・立体的な土器装飾の始まり 寺内 隆夫

第2回（7月18日）

・八世紀後半の信越地域の地方行政 傳田 伊史

・宮下村長と「更生村 浦里」の歴史的意味

～人間の意図と結果の乖離を含めて～ 徳嵩 隆治

第3回（8月21日）

・合成樹脂による保全処置がなされた鉄刀の保存処理について

～佐久市蛇塚古墳出土2振の鉄刀の保存処理修復基本案～ 白沢 勝彦

・大正後期 長野県財政の構造

～満洲移民論の前哨として～ 青木 隆幸

第4回（9月19日）

・高校の下に眠る遺跡 中野 亮一

・第二次世界大戦後の松本盆地における農業の展開 市川 正夫

第5回（10月22日）

・歴史館のあり方検討に関わって

～学校見学対応とボランティア活用の方向 宮本 博

・雑誌創刊コレクションに見る現代史

～1960年代後半を中心に～ 角田 恵祐

第6回(11月27日)

- ・倉科将軍塚が造られたころ
- ・江戸時代の名所図会
- ～『善光寺道名所図会』～

上田 典男

岸田 恵理

第7回(12月18日)

- ・「長野県の絵図・地図」の正体と可能性
- ・百年前の5万分の1の地形図「中野」を読む
- ・本土決戦準備と長野県

遠藤 公洋

畔上 不二男

金澤 大典

第8回(2月20日)

- ・信濃武士「両属」の背景
- ～屋代秀正の場合～

福島 正樹

第9回(3月13日)

- ・博物館照明としてのLEDについて
- ・「熊倉橋架橋之図」について
- ・1945年の長野県民と陸軍

林 誠

市川 厚

原 明芳

3 時代別研究会

平成26年度 時代別所属者名(太字代表者)

	学芸部長	総合情報課	考古史料課	文献史料課
原 始		中野 亮一、 宮本 博	原 明芳、 寺内 隆夫	
古 代 中 世	市川 正夫	傳田 伊史、 市川 厚	上田 典男、 白沢 勝彦	
近 世		福島 正樹、 岸田 恵理、 畔上 不二男		遠藤 公洋
近現代		金澤 大典、 林 誠		青木 隆幸、 徳嵩 隆治

時代別研究会の主な業務

- (1) 学芸研究会発表内容の事前報告
- (2) 史資料及び図書資料の調査研究
- (3) 常設展及び企画展の展示資料についての調査研究
- (4) ブックレット原稿の事前検討

Ⅷ 資料の収集・整理・保存

1 資料収集の方針

(平成3年6月建設委員会決定)

(1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的関係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータ化する必要がある。

(2) 資料収集の具体的方針

① 収集資料の種類

(a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要であり、保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中核としながら、寄贈、寄託、購入などによっても収集を図る。

(b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料

で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

(c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

(d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

② 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館の施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史の変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じ専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、寄

贈、寄託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的関係にたつて収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア 市町村において保存、整理、公開の対応ができないもの

イ 資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なものについては優先的に対応する。

(d) 資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。

(e) 県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。

(f) 歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

2 展示資料

(1) 収集資料数

区 分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
平成26年	2	0	0	0	2

(2) 収集資料の内訳

資料名	員数	時代	備 考
宿絵図（塩尻宿）	1	近世	実物購入
松代祭礼絵巻	1	近世	実物購入

(3) 寄贈

なし

(4) 寄託

なし

(5) 修復

なし

3 考古資料

(1) 収集

平成26年度、長野県埋蔵文化財センターから近津遺跡群・周防畑遺跡群・森平遺跡ほかの資料が移管された。

(2) 保存

収蔵庫内の資料の点検、要修理遺物の抽出をした。中央道関連写真等を、当該市町村等へ移管した。

(3) 整理状況

長野県教育委員会および長野県埋蔵文化財センターから移管された遺物・写真・調査資料等の整理。

遺 跡 名	数 量	内 容
近津遺跡群・周防畑遺跡群・森平遺跡ほか	567 箱	遺物整理・台帳データ 配架台帳のデータ化
〃	100 冊	図面整理
〃	18 箱	調査資料整理
〃	26,784 枚	写真整理
〃	2,378 件	報告書掲載遺物データ化

(4) 保存処理・修復・科学分析

・保存処理・科学分析

館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。
当館の設備を用いて、当県の歴史の研究のために必要とされる科学分析を実施した。
長野県埋蔵文化財センター並びに市町村教委

員会へ必要な技術協力を行なった。

・その他

市町村埋蔵文化財担当者および博物館施設職員等を対象とした、保存処理講習会「鉄製品の保存処理と保管」を11月14日・12月5日の二日間に分けて開催し、両日12名、単日4名の参加があった。

項 目	内 容		件 名 ・ 資 料 名	処理点数	状 況	所 管	
木 器	保存処理	大型木器等 PEG処理槽一括処理	P E G 法※2	第28シリーズ（A槽） （前山田遺跡・春山B遺跡・社宮司遺跡他）	901	完 了	当 館
				第29シリーズ（B槽） （社宮司遺跡他）	1,951	継 続	当 館
				第30シリーズ（C槽） （東條遺跡他）	392	継 続	当 館
		小型木器	P E G 法 （FD処理待ち含む）	東條遺跡ほか木簡	7	継 続	当 館
				社宮司遺跡他（D槽）	573	凍 結	当 館
		継 続 合 計			2,350		
		完 了 合 計			901		
		P E G 処理後写真 記録整理		第27シリーズ（E槽） （石川条里遺跡・川田条里遺跡・社宮司遺跡・屋代遺跡群）	1,299	完 了	当 館
金属器	保存処理・修復		社宮司・野火附・野火附城跡の3遺跡と力石条里・中原の2遺跡群	41	継 続	当 館	
科学分析	赤外線観察	上田市 柳町家歓喜天堂地鎮具 賢瓶内包物包み紙		8	完 了	上田市教育委員会	
		宮田村内所在伝世品		6	完 了	宮田村教育委員会	
	電子顕微鏡観察 元素分析	上田市手塚五反田『願海碑』 出土三鈷杵		1	完 了	上田市教育委員会	
	X線透過撮影観察	御所・善光寺門前各遺跡		64	完 了	長野市教育委員会	
		鬼釜・神之峯城跡・風張各遺跡		145		長野県埋蔵文化財センター	
		塚穴古墳		36		青木村教育委員会	
		小路方遺跡		4		上松町教育委員会	
	合 計			264			
保存処理・修復・環境管理等照会				18 件	13 市町村		

※1 真空凍結乾燥法で保存処理したもの。

※2 ポリエチレングリコールの2段階処理を実施したもの（最終的にポリエチレングリコールを100%まで浸漬）。

4 文献史料

(1) 行政文書

①収 集

ア 行政簿冊 54書目(2月末現在)

平成25年度をもって不用決定された本庁および現地機関文書1815書目(目録上)のうち歴史資料として保存すべきものを評価選別した。

イ 県報 134件(平成26年1月～12月)

ウ 行政資料 220冊(長野県の行政刊行物:議会資料含む)

②整理・保存・公開

ア くん蒸 9回 段ボール箱292箱(行政文書と古文書、展示資料、県立長野図書館・長野県短期大学図書館依頼分、長野県測量図等)

イ 行政文書の件名目録作製 228冊(大正2～平成21年度までの56年度分)

ウ 行政文書の公開非公開判定 228冊(大正2～平成21年度までの56年度分)

146冊(明治元年～明治18年までの18年度分)

694冊(大正元年～大正14年までの14年度分)

エ 県報製本(業者委託) 8冊(平成26年1月～12月分正副各4冊)

オ 県史収集史料フィルムの洗浄・複製 486

カ 絵図補修(業者委託) 4枚

資 料 名	枚数	備考
飯田城郭図(下伊那)	1	折れ線、皺
福島絵図(西筑摩)	1	折れ線、皺
八幡村略図(更級)	1	折れ線、皺
松代縮図(埴科)	1	折れ線、皺

キ 資料の公開

・行政資料(議会資料含む) 269 冊

・行政簿冊 大正2年～平成21年度分 228 冊

(2) 古文書

① 収 集

立科町六川長三郎家文書（2－21）

千曲市生萱観音寺文書（7－29）

埴科郡生萱村高野家文書

室賀家資料

② 整 理

文書番号	文 書 名	点 数
2－18	佐久郡竹田村文書（上條信彦氏収集文書）	102
2－19	佐久郡取出村文書（上條信彦氏収集文書）	122
2－20	佐久郡山部村文書（上條信彦氏収集文書）	66
2－21	立科町六川長三郎家文書	1,560
4－24	伊那郡伊那部村文書（上條信彦氏収集文書）	5
4－25	伊那郡木下村文書（上條信彦氏収集文書）	124
4－26	伊那郡大嶋山村文書（上條信彦氏収集文書）	32
5－2	筑摩郡西洗馬村文書（追加整理分）	11
5－4	筑摩郡潮村文書（追加整理分）	109
5－28	筑摩郡塩尻村文書（上條信彦氏収集文書）	270
5－31	安曇郡田沢村文書（上條信彦氏収集文書）	63
5－32	安曇郡上大妻村・下大妻村文書（上條信彦氏収集文書）	50
5－33	安曇郡二木村文書（上條信彦氏収集文書）	96
5－34	筑摩郡郷原村文書（上條信彦氏収集文書）	142
7－29	千曲市生萱観音寺文書	31
7－33	更級郡今里村文書（上條信彦氏収集文書）	241
9－27	水内郡瀬戸川村馬曲組文書（上條信彦氏収集文書）	538

③ 公 開（web 上公開分も含む）

文書番号	文 書 名	点 数
2－18	佐久郡竹田村文書（上條信彦氏収集文書）	102
2－19	佐久郡取出村文書（上條信彦氏収集文書）	122
2－20	佐久郡山部村文書（上條信彦氏収集文書）	66
2－21	立科町六川長三郎家文書	1,560
4－24	伊那郡伊那部村文書（上條信彦氏収集文書）	5
4－25	伊那郡木下村文書（上條信彦氏収集文書）	124
4－26	伊那郡大嶋山村文書（上條信彦氏収集文書）	32
5－2	筑摩郡西洗馬村文書（追加整理分）	11
5－4	筑摩郡潮村文書（追加整理分）	109
5－25	金山領（追加整理分）	113
5－28	筑摩郡塩尻村文書（上條信彦氏収集文書）	270
5－31	安曇郡田沢村文書（上條信彦氏収集文書）	63
5－32	安曇郡上大妻村・下大妻村文書（上條信彦氏収集文書）	50

5 - 33	安曇郡二木村文書（上條信彦氏収集文書）	96
5 - 34	筑摩郡郷原村文書（上條信彦氏収集文書）	142
7 - 29	千曲市生萱観音寺文書	31
7 - 33	更級郡今里村文書（上條信彦氏収集文書）	241
9 - 27	水内郡瀬戸川村馬曲組文書（上條信彦氏収集文書）	538

④ 収蔵文書目録 14 の刊行

文書番号	収 録 文 書 名
5 - 1	筑摩郡西条村文書
5 - 2	筑摩郡西洗馬村文書
5 - 3	筑摩郡北山新田村文書
5 - 4	筑摩郡潮村文書
5 - 6	筑摩郡堅石村文書
5 - 9	筑摩郡和田組荒井村一件
5 - 12 - 4	筑摩郡井苅村文書
5 - 14	筑摩郡囡・潮山中・小野立・上生野村文書
5 - 16	筑摩郡平出村塩原家文書
5 - 18	筑摩郡上生坂村文書
5 - 19	筑摩郡北山村文書
5 - 22	筑摩郡赤恕田村文書
5 - 24	筑摩郡北熊井村文書
5 - 25	筑摩郡金山領文書

Ⅸ 広 報

1 広告・案内

当館の紹介や企画展示・関連行事・講座等で実施した主な広報は以下の通りである。また、下記以外に千曲市内へのチラシ回覧、千曲市内および長野市内の学校や諸機関等への手配りチラシ広報を実施している。

広告・案内

月	掲載・掲示	内 容	規 格	備 考
4 月	「KURA」5月号 「アルクマ便り」6月号 FMぜんこうじ 長野県教育委員会 FMぜんこうじ 読売新聞 FMぜんこうじ 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 ケーブルネット千曲ガイド 長野市民新聞 ハートピアすまいる 「催しのご案内」No20	長野県立歴史館 案内 夏季展「山とともに生きる」 案内 「長野県の遺跡発掘 2014」案内 「長野県の遺跡発掘 2014」遺跡報告会 案内 「長野県の遺跡発掘 2014」遺跡報告会 案内 「長野県の遺跡発掘 2014」案内 「埋文体験デー」案内 「埋文体験デー」案内 善光寺街道協議会記念講演会 案内 「長野県の遺跡発掘 2014」案内 「埋文体験デー」案内 「歴史館でこどもの日」案内 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」案内	冊子 プレスリリース FM放送 プレスリリース FM放送 新聞 FM放送 新聞 新聞 チラシ 新聞 折り込み広告 チラシ	東京観光情報センター 連休ガイド 連休ガイド 中島新聞店 八十に文化財団
5 月	信濃毎日新聞 はちじゅうに FMぜんこうじ 「旅鶴」夏号 アルクマップ 信濃毎日新聞	考古学講座「長野県内の城石垣の戦線」 案内 長野県立歴史館 案内 「長野県の遺跡発掘 2014」案内 「長野県の遺跡発掘 2014」案内 長野県立歴史館 案内 考古学セミナー 藤森栄一賞受賞記念講演会 案内	新聞 冊子 FM放送 冊子 Web サイト 新聞	週刊ガイド 八十二銀行行内報 ミュージアムカフェ 週刊ガイド
6 月	長野市民新聞 長野放送 FMぜんこうじ 週刊うえだ 「催しのご案内」No21 毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 日本歴史 ケーブルネット千曲 「集い」No20	館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」案内 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」案内 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」案内 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」案内 夏季展「山とともに生きる」案内 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」案内 第2回考古学講座「シナノの積石塚古墳」案内 歴史館セミナー「明治三陸地震津波の新聞報道と絵画」 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」案内 秋から冬の企画展案内 長野県立歴史館 案内 講座「大人の遠足」案内	新聞 テレビ放送 FM放送 新聞 チラシ 新聞 新聞 新聞 新聞 冊子 チラシ チラシ	 八十にブナ財団 イベントガイド 週刊ガイド 週刊ガイド 八十に文化財団
7 月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 旅行出版社 FMぜんこうじ	館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」講座案内 長野県立歴史館 案内 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」案内	新聞 新聞 冊子 FM放送	週刊ガイド 観光施設情報

	長野日報社 第 96 回全国高校野球選手 権長野大会冊子 FMぜんこうじ 週刊長野 朝日新聞 広告 信濃毎日新聞 FMぜんこうじ 大阪梅田地下広場	速報展「長野県の遺跡発掘 2014」案内 夏季展「山とともに生きる」案内 夏季展「山とともに生きる」案内 夏季展「山とともに生きる」案内 夏季展「山とともに生きる」案内 夏季展「山とともに生きる」講演会案内 夏季展「山とともに生きる」講演会案内 日本列島心のふるさと列島展 夏季展ポスター掲示・チラシ配布	新聞 冊子 FM放送 新聞 新聞 新聞 FM放送 イベント	関東朝日広告社 関東朝日広告社 週刊ガイド
8 月	『まちコレ』BEST20 ハートピアすまいる 「旅鶴」秋号 読売新聞 特集広告 「催しのご案内」No22 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 美術界データブック 2015 信濃毎日新聞 FMぜんこうじ 「集い」No21	長野県立歴史館 案内 イベント「歴史館で夏休み」案内 夏季展「山とともに生きる」案内 夏季展、夏休みイベント 案内 秋季企画展「信濃武士の決断」案内 イベント「歴史館で夏休み」案内 夏季展「山とともに生きる」案内 長野県立歴史館、春季展 案内 夏季展講座「近代化の開発拠点」案内 夏季展「山とともに生きる」案内 講座「大人の遠足」案内	スマホアプリ 新聞チラシ 冊子 新聞広告 チラシ 新聞 新聞 冊子 新聞 FM放送 チラシ	(株)ゲイン 中島新聞店 旅鶴倶楽部 信州博物館特集号 八十に文化財団 週刊ガイド お盆期間ガイド (株)生活の友社 教室案内 八十に文化財団
9 月	「アルクマ便り」10月号 「旅鶴」冬号 FMぜんこうじ 信濃毎日新聞 ゼンリン観光コンテンツ MAPPLE観光ガイド FMぜんこうじ SBC信越放送 FM長野 朝日新聞 雑誌新聞総かたろぐ 2015 週刊長野	冬季展「縄文土器展」案内 冬季展「縄文土器展」案内 秋季企画展「信濃武士の決断」案内 第3回考古学講座「縄文時代における石積みの文化」案内 長野県立歴史館 案内 長野県立歴史館 案内 秋季企画展「信濃武士の決断」講座案内 秋季企画展「信濃部牛の決断」案内 秋季企画展「信濃武士の決断」案内 秋季企画展「信濃武士の決断」案内 長野県立歴史館 案内 秋季企画展「信濃武士の決断」案内	プレスリリース 冊子 FM放送 新聞 WEB、ナビ等 冊子、WEB等 FM放送 テレビ FM放送 新聞広告 冊子 新聞	東京観光情報センター ミュージアムカフェ 週刊ガイド 昭文社 関東朝日広告社 メディアリサーチ
10 月	週刊うえだ 雑誌モナミ 「催しのご案内」No23 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 どこいこ観光関連ガイド FMぜんこうじ FM長野	秋季企画展「信濃武士の決断」案内 長野県立歴史館 案内 冬季展「縄文土器展」案内 秋季企画展「信濃武士の決断」案内 講演会「織豊時代の終焉と天下統一」 地域連携講座「善光寺進形の裾野を歩く」案内 長野県立歴史館 案内 秋季企画展「信濃武士の決断」案内 秋季企画展「信濃武士の決断」案内	新聞 冊子 チラシ 冊子 新聞 新聞 新聞 冊子 FM放送	サンメディックス 八十に文化財団 週刊ガイド 週刊ガイド 旅行出版社
11 月	信濃毎日新聞 FMぜんこうじ 読売新聞 「催しのご案内」	善光寺信仰学ぶ御開帳講座 秋季企画展「信濃武士の決断」案内 県内美術館・博物館情報 秋季企画展案内 冬季展「縄文土器展」案内	新聞 FM放送 新聞 チラシ	 八十二文化財団

	信濃毎日新聞 FMぜんこうじ 週刊長野	冬季展「縄文土器展 デコボコかざりのはじまり」案内 冬季展「縄文土器展」案内 冬季展「縄文土器展」案内	新聞 FM放送 新聞	週刊ガイド
12月	信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 FMぜんこうじ 「催しのご案内」No24 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 昭文社「MAPPLE」	やさしい信濃の歴史講座1 案内 冬季展「縄文土器展」案内 縄文土器展図録 広告 考古学講座 in 尖石 冬季展「縄文土器展」案内 春季企画展「山と海の廻廊をゆく」案内 やさしい信濃の歴史講座2 案内 縄文風クリスマスリース・ゾートロープを作ろう 案内 長野県立歴史館 案内	新聞 新聞 新聞 新聞 FM放送 チラシ 新聞 新聞	週刊ガイド 週刊ガイド 信毎書籍出版 イベントガイド 八十に文化財団 週刊ガイド 週刊ガイド
1月	信濃毎日新聞 るるぶ観光データベース 信濃毎日新聞 FMぜんこうじ マップルマガジン信州	近代史セミナー 案内 長野県立歴史館 案内 やさしい信濃の歴史講座4 案内 冬季展「縄文土器展」案内 長野県立歴史館 案内	新聞 観光ガイド 新聞 FM放送 冊子	週刊ガイド JTB 週刊ガイド 昭文社
2月	『日本歴史』 信濃毎日新聞 FMぜんこうじ 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 「催しのご案内」No25 信濃毎日新聞	長野県立歴史館 平成26年度上半期企画展 案内 やさしい信濃の歴史講座5 案内 春季企画展「山と海の廻廊をゆく」案内 やさしい信濃の歴史講座6 案内 春季企画展「山と海の廻廊をゆく」案内 春季企画展「山と海の廻廊をゆく」案内 地域連携講座 案内	冊子 新聞 FM放送 新聞 新聞 チラシ 新聞	吉川弘文館 週刊ガイド 週刊ガイド イベントガイド 八十に文化財団 週刊ガイド
3月	ケーブルネット千曲 FMぜんこうじ 信濃毎日新聞	春季企画展「山と海の廻廊をゆく」案内 春季企画展「山と海の廻廊をゆく」案内 歴史館セミナー 案内	チラシ FM放送 新聞	放送ガイド 週刊ガイド

記事・報道

当館の企画展示、講座等に関する記事・番組等は以下のとおりである。

月	掲載・掲示	タイトル	規格	備考
4月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 読売新聞 信濃毎日新聞 山陰中央新報 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	しなの歴史再見92「千曲川沖積地のムラ」 しなの歴史再見93「弥生～平安時代の住居跡」 歴史館へようこそ 今年度の講座のご案内 名作招待席「阿彌陀三尊二十五菩薩来迎図」 しなの歴史再見94「新たに発見された古墳」 須須の名もつ二つの社 水路分岐点守り鎮座 城ファン新史実に思い しなの歴史再見95「頂と山腹、異なる土地利用」 しなの歴史再見96「各地の城郭・城下町遺跡 進む調査 観光面の期待も」	コラム コラム 有線放送 コラム コラム コラム 記事 コラム コラム	速報展「長野県の遺跡発掘2014」関連 速報展「長野県の遺跡発掘2014」関連 考古学講座、古文書講座の紹介 館蔵品展「歴史に描く日本の美」関連 速報展「長野県の遺跡発掘2014」関連 「出雲を原郷とする人たち」 速報展「長野県の遺跡発掘2014」関連 速報展「長野県の遺跡発掘2014」関連 速報展「長野県の遺跡発掘2014」関連
5月	信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞	しなの歴史再見97「松本城などの石垣 時代とともに変わる工法」 「長野県の遺跡発掘2014」近世城郭・城下町展示解説 「南相木でも関東大震災被害」	コラム 有線放送 記事	速報展「長野県の遺跡発掘2014」関連 速報展「長野県の遺跡発掘2014」関連 関東大震災研究関連

	長野放送 読売新聞 テレビ信州	六工社製糸工場について 名作招待席「浦島縁起絵巻」 縄文時代の食生活について	テレビ放送 コラム テレビ放送	富岡製糸場世界遺産指定関連 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」関連 「ゆうかた get」番組内
6 月	長野放送 読売新聞 信濃毎日新聞 テレビ信州 信濃毎日新聞 屋代有線放送	常設展「六工社」 名作招待席「浦島縁起絵巻 上巻・下巻」 しなの歴史再見 98 「絹本著色一光三尊像」 縄文時代 サケについて 「重文の石器など 34 点展示」 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」展示品紹介	テレビ放送 コラム コラム テレビ放送 記事 有線放送	富岡製糸場世界遺産関連 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」関連 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」関連 情報番組「ゆうかたGET!」 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」関連 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」関連
7 月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 長野日報社 信濃毎日新聞 長野日報社 朝日新聞デジタル 朝日新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞 屋代有線放送 読売新聞	しなの歴史再見 99 「野尻湖周辺の斧形石器」 しなの歴史再見 100 「有数の黒曜石原産地」 古代からの逸品「底が尖った土器」 しなの歴史再見 101 「丸山晩霞のスケッチ旅行」 古代からの逸品「クリスタルの石器」 「横田英と六工社」 ぐんまシルク紀行「横田英と六工社」 「発掘された日本列島」展 紹介 「信州山の日」多彩な催し ぐんまシルク紀行「工女「哀史」だけではいい」 夏季展「山とともに生きる」展示品紹介 名作招待席「長野市松原遺跡黒曜石 石鏃」	コラム コラム コラム コラム コラム 記事 記事 記事 記事 記事 有線放送 コラム	館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」関連 夏季展「山とともに生きる」関連 速報展「長野県の遺跡発掘 2014」関連 夏季展「山とともに生きる」関連 速報展「長野県の遺跡発掘 2014」関連 富岡製糸場世界遺産指定関連 富岡製糸場世界遺産指定関連 当館資料貸出展示 夏季展「山とともに生きる」関連 富岡製糸場世界遺産指定関連 夏季展「山とともに生きる」関連 夏季展「山とともに生きる」関連
8 月	信濃毎日新聞 屋代有線放送 長野日報社 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 長野日報社 みのわ新聞社 長野日報社 長野日報社 信濃毎日新聞	しなの歴史再見 102 「山の案内人・上條嘉門次」 夏季展「山とともに生きる」講座案内 古代からの逸品「底のとがった土器」 「山々校歌で歌い継がれ」 しなの歴史再見 103 「島木赤彦からの涼風」 なぜ？なに？信州「野尻湖にいたナウマンソウ」 しなの歴史再見 104 「山が生活の場 証言する史料」 夏季展紹介「山と生きた歴史を見つめて」 古代からの逸品「ヒスイの勾玉と原石」 長野県の遺跡発掘「調査成果の出土品展示」 古代からの逸品「古代の硯」 古代からの逸品「城内に水を引いた土管」 戦争証言「今聞かぬば」	コラム 有線放送 コラム 記事 コラム コラム コラム 記事 コラム 記事 コラム コラム 記事	夏季展「山とともに生きる」関連 夏季展「山とともに生きる」関連 速報展「長野県の遺跡発掘 2014」関連 夏季展「山とともに生きる」関連 夏季展「山とともに生きる」関連 信毎こども新聞 夏季展「山とともに生きる」関連 夏季展「山とともに生きる」関連 速報展「長野県の遺跡発掘 2014」関連 速報展「長野県の遺跡発掘 2014」関連 速報展「長野県の遺跡発掘 2014」関連 速報展「長野県の遺跡発掘 2014」関連
9 月	読売新聞 信濃毎日新聞 FMぜんこうじ 信濃毎日新聞 屋代有線放送	名作招待席「織田信長朱印状」 しなの歴史再見「信濃武士の戦国時代」 ひるどき もんぶらワイド 出演 「幕末～明治の地図 3000 点調査」 秋季企画展「信濃武士の決断」案内	コラム コラム FM放送 記事 有線放送	秋季企画展「信濃武士の決断」関連 秋季企画展「信濃武士の決断」関連 秋季企画展「信濃武士の決断」関連
10 月	信濃毎日新聞 市民タイムス FMぜんこうじ 信濃毎日新聞 屋代有線放送	しなの歴史再見「徳川家からの拝領品」 「豊科郷土博物館 県と連携」 「信濃の武将ゆかりの 72 点」 しなの歴史再見「洛中洛外図屏風」 秋季企画展「信濃武士の決断」展示解説	コラム 記事 FM放送 コラム 有線放送	秋季企画展「信濃武士の決断」関連 秋季企画展「信濃武士の決断」関連 秋季企画展「信濃武士の決断」関連

11月	信濃毎日新聞 読売新聞 日本経済新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送	「森將軍塚まつり」にぎわい 名作招待席「屋代遺跡群 赤色塗彩浅鉢形土器」 吉田初三郎「長野県の温泉と名勝」 しなの歴史再見「鍋のデコボコかざり」 シリーズ縄文に触れる「土器企画展親しみやすく」 「宮田村、稲荷社など文化財指定」 冬季展「縄文土器展」展示解説	記事 コラム 記事 コラム 記事 記事 有線放送	冬季展「縄文土器展」関連 冬季展「縄文土器展」関連 冬季展「縄文土器展」関連
12月	信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	しなの歴史再見「縄文と弥生 土器の違い」 錦絵楽しむ 特別な「小諸場所」 しなの歴史再見「縄文人とドングリ食」 やさしい信濃の歴史講座 解説 しなの歴史再見「工芸美術としての縄文土器」 2014 県内回顧 歴史 「戦後70年へ問われる認識」	コラム 記事 コラム 有線放送 コラム 記事	冬季展「縄文土器展」関連 雷電錦絵 小諸貸出 冬季展「縄文土器展」関連 冬季展「縄文土器展」関連
1月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 毎日新聞 信濃毎日新聞 信毎こども新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞	生徒が記した終戦前後 しなの歴史再見「縄文中期の土器装飾」 装飾ふんだん縄文土器 「デコボコかざり」流行期、特徴紹介の縄文土器展 縄文土器の文様や装飾の特徴を小雨会 土器で遊んじゃおう やさしい信濃の歴史講座 内容難内 土器や勾玉 歴史に触れて 県埋文センター出土品展	記事 コラム 記事 記事 記事 特集記事 有線放送 記事	冬季展「縄文土器展」関連 冬季展「縄文土器展」関連 冬季展「縄文土器展」関連 冬季展「縄文土器展」関連 冬季展「縄文土器展」関連 冬季展「縄文土器展」関連 「長野県の遺跡発掘2015」関連
2月	週刊長野 読売新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送	北陸と信州 つながりの歴史紹介 名作招待席「基礎義仲合戦図屏風」 しなの歴史再見「木曾義仲の下文」 春季企画展「山と海の廻廊をゆく」案内	記事 コラム コラム 有線放送	企画展「山と海の廻廊をゆく」関連 企画展「山と海の廻廊をゆく」関連 企画展「山と海の廻廊をゆく」関連 企画展「山と海の廻廊をゆく」関連
3月	信濃毎日新聞 FMぜんこうじ TSBテレビ信州 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞	しなの歴史再見「北陸道御巡幸図」 ひるどき もんぶらガイド 出演 新幹線延伸関連報道 「信濃と北陸をつなぐ道」 春季企画展「山と海の廻廊をゆく」展示解説 しなの歴史再見「信越線の検察」 しなの歴史再見「発見された北陸道」 名作招待席「明治天皇巡幸の関連史料」	コラム FM放送 テレビ 有線放送 コラム コラム コラムス	企画展「山と海の廻廊をゆく」関連 企画展「山と海の廻廊をゆく」関連 企画展「山と海の廻廊をゆく」関連 企画展「山と海の廻廊をゆく」関連 企画展「山と海の廻廊をゆく」関連 企画展「山と海の廻廊をゆく」関連 企画展「山と海の廻廊をゆく」関連

一 資 料 一

I 資 料 利 用

(点)

資料利用	展示資料 (復元・模型等)	考古資料 (一括資料も1点)	文献史料 (文書・絵図等)
貸 出	21	342	67
掲 載	76	98	166
複製(資料・写真)	6	0	26

II 閲 覧 利 用・情 報 利 用

月	閲覧者数 右＝1日平均		閲覧者数の内訳							複写 件数	撮影 件数	レファレ ンス件数	HPアク セス数	資料 受入数	図書 登録数
			図 書	歴史情報	映像情報	行政文書	古文書	考古資料	その他						
4	729	27	676	24	10	7	8	0	4	43	43	8	5,433	43	375
5	2,561	95	2,477	41	7	11	14	0	11	112	183	3	5,638	232	374
6	966	40	859	43	23	10	14	1	16	78	83	8	5,240	66	246
7	459	18	361	48	6	14	17	0	13	74	212	10	5,257	152	315
8	758	27	585	87	19	29	36	0	2	105	176	4	6,200	105	211
9	315	14	264	27	0	7	16	0	1	36	200	8	5,380	84	131
10	504	19	409	32	26	10	19	0	8	134	88	10	5,634	102	275
11	401	17	340	19	5	13	15	0	9	68	88	9	4,958	138	134
12	197	10	166	13	0	5	10	0	3	40	69	6	4,841	107	228
1	304	14	249	30	2	7	12	0	4	67	167	10	5,584	33	186
2	294	15	264	3	0	9	14	0	4	69	41	12	5,307	53	151
3	367	15	313	13	3	15	16	0	7	182	394	15	5,659	161	281
計	7,855	26	6,963	380	101	137	191	1	82	1,008	1,744	103	65,131	1,276	2,907

III 利 用 者

平成26年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		巡回展 (7/19~8/24)		講演会・講座等		閲 覧 室		出前講座		利用者計
	観覧者数	日数	観覧者数	日数	受講者等数	日数	受講者等数	日数	観覧者数	日数	受講者数	日数	
4	3,776	28	3,776	28			278	2	729	28	128	2	8,687
5	8,588	27	8,588	27			3,623	22	2,561	27	68	1	23,428
6	5,164	24	3,034	15			2,006	17	966	24	43	1	11,213
7	3,003	26	3,014	23	545	11	1,847	16	459	26	30	1	8,898
8	3,142	28	5,256	28	1,057	20	1,898	14	758	28	124	3	12,235
9	1,812	23	518	3			1,038	13	315	23	492	8	4,175
10	4,073	27	4,073	27			2,327	22	504	27	359	7	11,336
11	4,487	24	2,613	10			1,829	12	401	24	395	5	9,725
12	701	21	701	21			554	8	197	21	56	2	2,209
1	1,097	22	1,097	22			709	9	304	22	51	1	3,258
2	778	20	270	2			1,076	14	294	20	145	3	2,563
3	1,674	26	1,674	26			1,712	7	367	26	1,712	5	5,643
計	38,295	296	34,614	232	1,602	31	18,897	156	7,855	296	2,107	38	103,370

※巡回展の会場：長野県伊那文化会館

入館者数等推移

区分 年度	常 設 展示室	企 画 展示室	講演講座等 (出前講座含む)	閱 覧 室	合 計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
合 計	1,045,005	665,465	195,410	185,331	2,091,211

企画展等入館者数

夏企＝企画展

春季＝季節展

区分 年度	名 称	期 日	入館者数
平成6年度 企画展	開館記念 赤い土器のクニ	11/3～12/11 38日	29,848
平成7年度 夏企	絵図にみる信濃－江戸時代の村や町－	7/15～8/20 32日	7,095
秋企	信濃における戦国争乱の世界	10/21～11/26 30日	10,873
平成8年度 夏企	縄文人の一生－北村遺跡に生きた人々－	7/20～8/25 32日	8,228
秋企	木簡が語る古代の信濃－掘り出された地方行政とくらし－	10/5～11/10 31日	8,450
平成9年度 夏企	殖産興業と万国博覧会－明治期における長野県の世界の交流－	7/19～8/24 32日	5,538
秋企	長野県にみる世界の文化－シルクの歴史と文化－	10/12～11/16 31日	7,011
館蔵品展	平成9年度新指定の県宝をみよう	1/31～3/1 29日	1,174
平成10年度 特別展示	屋代木簡展	6/5～6/20 14日	—
夏企	古代シナノの武器と馬具－古墳時代の武人のすがた－	7/18～8/23 32日	5,950
秋企	諏訪信仰の祭りと文化	10/17～11/23 33日	7,912
平成11年度 館蔵品展	館蔵品展	4/4～5/9 33日	9,866
夏企	信濃名宝展－鎌倉時代の文化財－	10/17～11/23 33日	7,458
秋企	蘭学万華鏡－江戸時代 信濃の科学技術－	7/16～8/22 38日	7,321
考古資料特別公開	躍動する縄文土器－新指定重要文化財御代田町河原田遺跡出土品とその周辺－	1/15～2/27 38日	3,719
平成12年度 夏企	千曲川歴史紀行－ともに生きた人びとの記録－	10/9～11/14 32日	4,443
秋企	歴史の宝庫 秋葉みち－信遠古道をたどる－	7/22～8/27 32日	7,807
長野県の20世紀展	信州に生きた20世紀の女たち	12/12～1/28 36日	2,117
平成13年度 館蔵品展	屏風の世界	5/29～7/1 30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20～9/2 40日	4,935

秋企	文人墨客がつどう - 19世紀北信濃の文芸ネットワーク -	10/2~11/11	36日	9, 3 3 2
特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26~3/3	32日	3, 4 3 1
平成14年度 テーマ	北村縄文人の時代 - 仮面土偶をつくった人びと -	5/25~6/30	32日	7, 6 7 1
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 - 信山育材 -	7/20~9/1	39日	3, 1 1 3
秋企	開設四百年 中山道 - 信濃二十六宿と間宿 -	10/5~11/17	38日	9, 3 1 8
特別公開	雛人形と雛道具 - 田中平八コレクションと北信濃の雛人形 -	1/25~3/2	31日	3, 5 4 5
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん - 秘仏の寺ものがたり -	5/16~6/22	33日	6, 5 7 9
夏企	SOSふるさとの文化財をすくえ - 伝えたい古人の心と技 -	7/15~8/24	36日	4, 2 8 7
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ原爆展 - 風化させてはならない歴史 -	9/27~10/26	26日	—
秋企	もみじ 夕焼け 里の秋 - 唱歌・童謡のふるさと信州 -	9/27~11/9	38日	9, 4 2 6
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 - 石器時代の槍と斧 -	1/10~2/29	43日	3, 9 4 4
特別公開	雛人形と雛道具 - 子どもの祝い -	1/10~2/29	43日	3, 9 4 4
平成16年度 春季	神がみへの願い 人びとの祈り - 古代のまつり -	5/22~6/27	32日	4, 3 8 6
夏季	善光寺道 - 街道を行き来した人・物・文化 -	7/17~8/29	38日	4, 8 6 0
秋季	中世信濃武士意外伝 - 義仲から幸村まで -	10/2~11/14	38日	1 0, 5 4 3
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1~1/16	14日	4 6 2
冬季	天下の糸平 - 横浜を目指した信州の生糸商人たち -	1/29~3/6	32日	2, 9 5 4
平成17年度 特別展	里帰りした赤羽刀 - GHQ 接收刀の輝き -	5/21~6/26	37日	4, 0 5 7
夏企	地下4mの縄文伝説 - 屋代遺跡群 愛と出会いの4千年 -	7/16~9/4	45日	5, 0 1 2
秋企	信州舞台物語 - 団十郎も須磨子もやってきた -	10/1~11/13	38日	8, 8 7 7
特別公開	六角木幢 極楽浄土への道しるべ	11/19~1/15	42日	2, 8 6 7
特別公開	雛人形と雛道具 - 身だしなみとよそおい -	1/28~3/5	32日	3, 4 9 8
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代 - 神津猛・米山一政寄贈資料を中心に -	5/19~6/25	33日	6, 9 7 9
夏企	幕末の信州 - 時代を駆けた草莽たち -	7/22~8/27	32日	4, 2 1 2
秋企	戦時下の子どもたち - 信州の一五年戦争 -	9/30~11/12	33日	1 0, 0 0 4
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ - 新指定長野県宝と歴史館のお宝 -	11/25~1/8	35日	2, 4 3 4
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見 - 長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから	5/19~7/1	38日	5, 9 6 2
夏季	絵地図の魅力 - わたしの城下町 -	7/21~8/19	27日	3, 3 7 4
文巡回展	発掘された日本列島 - 新発見考古速報展 -	9/1~9/30	26日	5, 9 0 6
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13~11/18	32日	9, 0 8 4
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8~1/14	28日	3, 1 4 3
冬季	信濃の人形 - 雛人形と郷土の人形 -	1/26~3/2	32日	2, 3 6 2
平成20年度 春季	うつわは語る - 縄文から近世まで -	5/24~6/29	32日	5, 4 2 6
夏企	大庄屋って何? 安曇郡・清水家文書の350年	7/19~8/24	33日	2, 6 2 5
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25~11/24	53日	1 1, 1 4 5
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ - 長野県宝と歴史館のお宝 -	12/13~3/1	61日	3, 0 2 0
平成21年度 春企	善光寺信仰 - 流転と遍歴の勅化 -	4/11~6/7	51日	1 1, 7 7 6
夏季	信州 知の遺産の系譜 - 歴史を記録した先人たち -	8/1~9/6	32日	4, 2 4 8
秋企	山を越え川に沿う - 信州弥生文化の確立 -	9/26~11/23	50日	8, 8 9 6
冬季	信州の歴史遺産Ⅲ - 諏訪地域の“いのり”と“まつり” -	12/12~2/28	60日	2, 0 9 7
平成22年度 春企	ひめゆり 平和への祈り	5/29~7/11	38日	8, 7 2 8
夏季	あの世への想い - 日本人はどのように埋葬されてきたか -	7/31~8/29	26日	2, 5 5 2
秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺	9/18~11/7	42日	8, 2 7 2
冬季	信州の歴史遺産Ⅳ - 文字のちから -	12/11~2/27	61日	2, 7 4 1
平成23年度 春季	武士の家宝 - かたりつがれた御家の由緒 -	5/28~7/3	32日	8, 9 0 1
夏企	激動を生きぬく - 信濃武士市河氏の400年 -	7/23~9/4	39日	4, 7 3 1
秋企	観光地の描き方 - 浮世絵版画から観光パンフレットまで -	9/23~11/13	44日	6, 1 6 4
冬季	信州の歴史遺産Ⅴ - 郷土のお宝『重文・県宝』を見よう -	12/10~2/26	44日	3, 3 0 2
小企画展	ありがとう屋代線	3/10~5/13	58日	—
平成24年度 春企	長野県の満洲移民 - 三つの大日向をたどる -	5/26~7/16	45日	8, 8 7 1
夏季	戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る	7/28~9/2	33日	5, 2 0 9
秋企	縄文土器展 前期展	9/15~11/4	44日	6, 8 7 1
	” 後期展	11/10~12/16	32日	2, 6 6 9
冬季	愛娘の調度品 - 姫君様の婚礼道具から雛人形まで -	1/12~3/3	39日	3, 6 6 8

平成25年度 夏企	信州の野球史 －大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球－	6/29～8/18	45日	4,608
秋企	刃が語る信濃	9/14～11/4	45日	7,904
冬季	山国の水害－戊の満水と善光寺地震－	11/23～1/19	41日	2,573
館蔵品	戦前の観光信州	2/1～3/9	29日	1,130
速報展	長野県の遺跡発掘2014－長野県埋蔵文化財センター速報展－	3/21～6/1	65日	12,680
平成26年度				
館蔵品	歴史に煌めく日本の美	6/14～7/13	26日	4,794
夏季	山とともに生きる－「信州山の日」制定を記念して－	7/26～8/31	33日	4,592
速報展	長野県の遺跡発掘2014（伊那会場）	7/19～8/24	31日	1,602
秋企	信濃武士の決断	9/27～11/9	38日	7,052
冬季	縄文土器展	11/29～2/1	45日	2,131

Ⅳ 収蔵史資料数

区分 年度	展示資料 (点)	増加数 (点)	図 書 (冊)	増加数 (冊)	考古資料 (箱)	受入数 (箱)	文献史料 (点)	増加数 (点)
平成6年度	1,996		27,156		4,930		79,060	
7年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
8年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
9年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202
15年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582
18年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763
25年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲ 288	287,611	115,293
26年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237

※考古資料の総数は、整理後の増減を含めた年度末収納数です。

一日誌

- 4月1日(火) 千曲市あんずまつり開始
 7日(月) あんずまつり対応開館
 14日(月) あんずまつり対応開館
 19日(土) 長野県の遺跡発掘報告会
 27日(日) 埋文体験デー
- 5月5日(月) 歴史館でこどもの日
 10日(土) 考古学講座①
 21日(水) 県博物館協議会総会・研究会(中野市～22日)
 24日(土) 古文書講座上級① 考古学セミナー
 29日(木) 北信越博物館協議会総会・研究協議会(新潟～30日)
- 6月1日(日) 長野県の遺跡発掘2014講座 古文書講座初級A①
 7日(土) 古文書講座中級A①
 9日(月) 全国公文書館長会議(札幌市～10日)
 14日(土) 館蔵品展開始
 18日(水) 歴史館資料調査員会議
 19日(木) 古文書講座初級B① 古文書講座中級B①
 21日(土) 歴史館セミナー①
 25日(水) 県史料協史料保存講習会(岡谷市)
 28日(土) 古文書講座上級② 考古学講座②
- 7月5日(土) 古文書講座中級A② 館蔵品展関連講座
 6日(日) 古文書講座初級A②
 11日(金) 歴史館協議会
 17日(木) 古文書講座初級B② 古文書講座中級B②
 26日(土) 「山とともに生きる」開始 「山とともに生きる」関連講演会 古文書講座上級③
 30日(水) 教育センター研修(教材)
- 8月2日(土) 古文書講座中級A③
 3日(日) 古文書講座初級A③
 4日(日) 古文書講座初級A③
 5日(木) 信大免許講習会(～6日)
 8日(金) 歴史館で夏休み(～10日)
 19日(火) 博物館実習開始(～8/29)
 20日(水) 「山とともに生きる」関連講座
 21日(木) 古文書講座初級B③・古文書講座中級B③
 23日(土) 古文書講座上級④
 29日(金) 教育センター研修(高校教員10年研修)
 31日(日) 「山とともに生きる」終了
- 9月6日(土) 古文書講座中級A④
 7日(日) 古文書講座初級A④
 18日(木) 古文書講座初級B④ 古文書講座中級B④
 20日(土) 考古学講座③
 27日(土) 秋季企画展開始 秋季企画展関連講座 古文書講座上級⑤
- 10月4日(土) 古文書講座中級A⑤
 5日(日) 古文書講座初級A⑤ 秋季企画展ギャラリートーク①

- 11 日 (土) 古文書愛好会探訪会
- 16 日 (木) 古文書講座初級B⑤・中級B⑤
- 18 日 (土) 考古学講座 遺跡探訪会 (山梨)
- 19 日 (日) 秋季企画展ギャラリートーク②
- 25 日 (土) 秋季企画展講演会
- 26 日 (日) 秋季企画展関連行事

- 11 月 3 日 (月) 森將軍塚まつり (千曲市主催)
- 6 日 (木) 「地域と共動した」研究会
- 9 日 (日) 秋季企画展終了 信大教員免許講習
- 14 日 (金) 考古資料保存処理講習会①
- 20 日 (木) 県史料協資料保存講習会
- 22 日 (土) 「地域と共動した」連携講座
- 29 日 (土) 冬季展開始 冬季展関連講座

- 12 月 5 日 (金) 考古資料保存処理講習会②
- 6 日 (土) やさしい信濃の歴史講座① 考古学講座 in 尖石
- 13 日 (土) やさしい信濃の歴史講座②
- 20 日 (土) 冬季展関連行事
- 27 日 (土) 年末年始休館 (～1 月 3 日)

- 1 月 10 日 (土) 冬季展関連行事
- 16 日 (金) 信大学芸員講習
- 17 日 (土) やさしい信濃の歴史講座③
- 24 日 (土) 近世史セミナー
- 31 日 (土) やさしい信濃の歴史講座④

- 2 月 1 日 (日) 冬季展終了 冬季展関連行事
- 7 日 (土) やさしい信濃の歴史講座⑤
- 14 日 (土) やさしい信濃の歴史講座⑥
- 17 日 (火) 長野県博物館関係職員研修会 (～18 日)
- 21 日 (土) 「地域と共動した」連携講座
- 26 日 (木) 近世城郭・城下町研究会
- 28 日 (土) 春季企画展開始

- 3 月 1 日 (日) 古文書愛好会総会
- 7 日 (土) 歴史館セミナー
- 21 日 (土) 親子映画会①
- 22 日 (日) 親子映画会②
- 24 日 (火) 親子映画会③
- 25 日 (水) 親子映画会④

長野県立歴史館年報 第 17 号

2014 年度（平成 26 年度）

2015 年(平成 27 年) 3 月 31 日発行

編集・発行 長野県立歴史館

〒387-0007 千曲市屋代 260-6

TEL 026-274-2000 (代表)

FAX 026-274-3996
